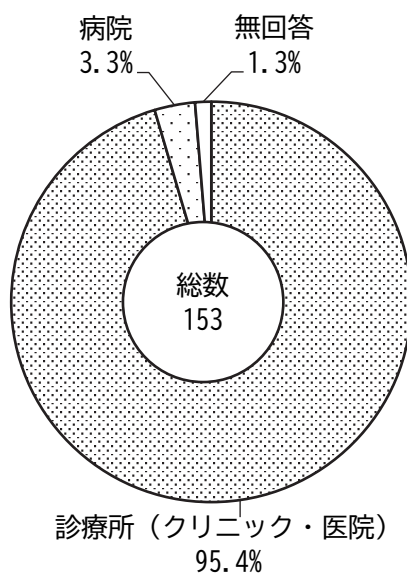


3.1 台東区医療意識調査（診療所・病院）

(1) 基本事項

問1 医療機関の種類についてお答えください。

「診療所（クリニック・医院）」は95.4%、「病院」は3.3%となっています。



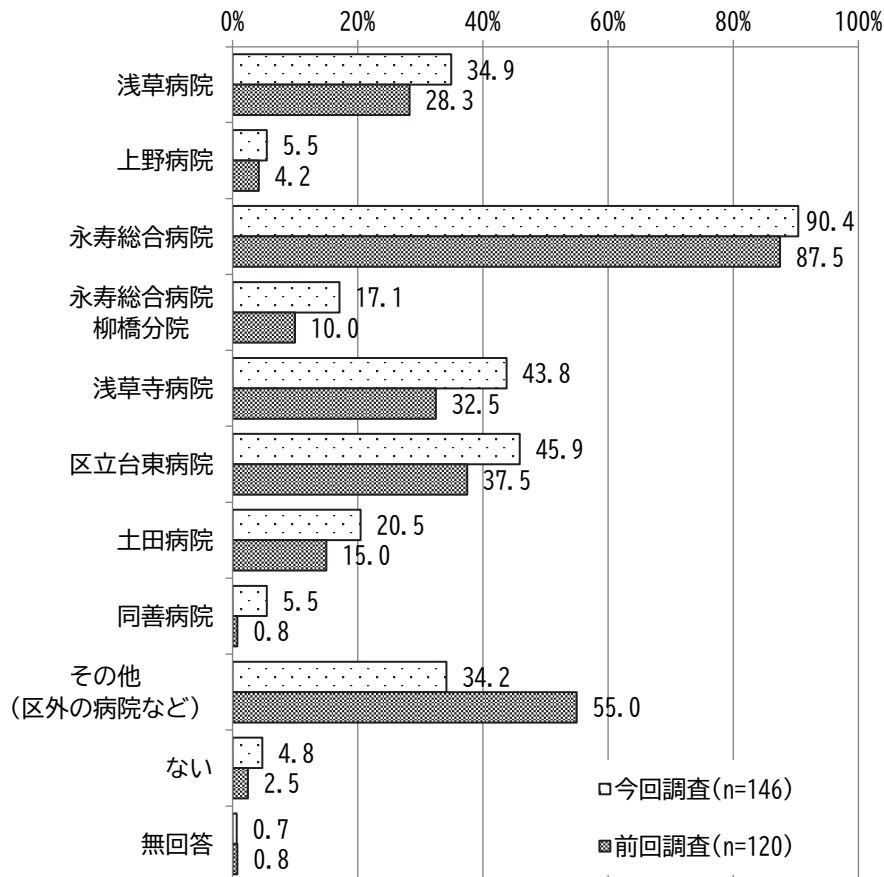
(2) 病診連携などについて

■診療所の方にお伺いします

問2 診療所の方にお伺いします。あなたは、以下の病院の中で医療連携（病診連携）として利用した病院がありますか。（〇はいくつでも）

「永寿総合病院」が 90.4%で最も多く、「区立台東病院」（45.9%）、「浅草寺病院」（43.8%）、「浅草病院」（34.9%）が続きます。

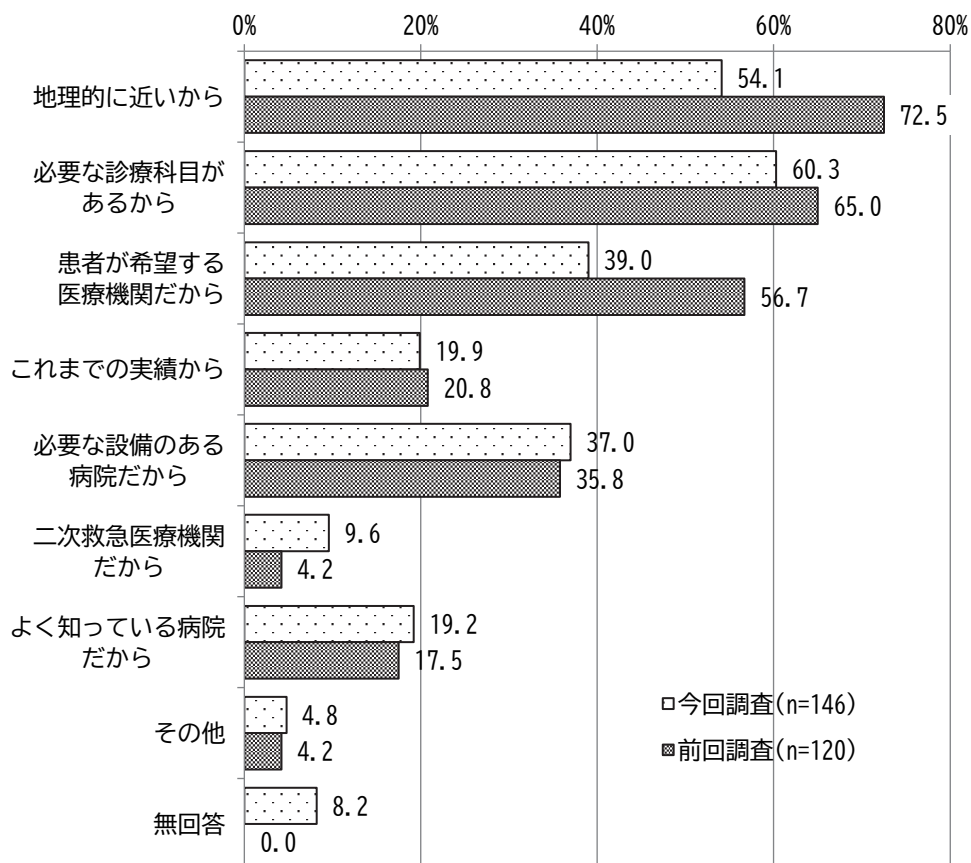
前回調査と比較すると、「浅草寺病院」が 11.3 ポイント、区立台東病院が 8.4 ポイント増加しています。



問3 診療所の方にお伺いします。医療連携で病院を選択する際、どのような理由で決定していますか。（〇は3つまで）

「必要な診療科目があるから」が60.3%で最も多く、「地理的に近いから」（54.1%）、「患者が希望する医療機関だから」（39.0%）、「必要な設備のある病院だから」（37.0%）が続きます。

前回調査と比較すると、「地理的に近いから」が18.4ポイント、「患者が希望する医療機関だから」が17.7ポイント減少しています。



【その他の回答（抜粋）】

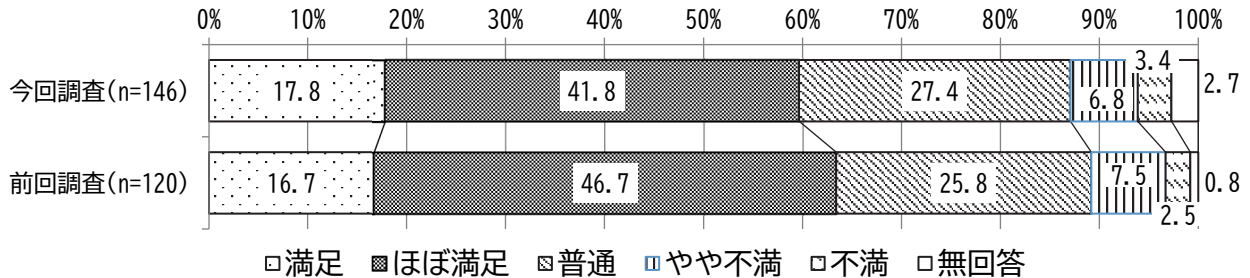
- ・ 即日診療して頂ける病院
- ・ 患者さんが深夜に困っても受け入れて頂ける病院
- ・ 疾患と医師で選択（病院に紹介する訳ではない）
- ・ 必要な医療機能があるから（設備や診療科目だけではない）
- ・ 連携先の病院の対応（連絡のスピードや内容も含む）

3.1 台東区医療意識調査（診療所・病院）

問4 診療所の方にお伺いします。区内の病院との医療連携に対する、あなたの満足度はどうですか。（〇は1つ）

「満足」（17.8%）が、「ほぼ満足」が41.8%、「普通」が27.4%、「やや不満」が6.8%、「不満」3.4%となっています。

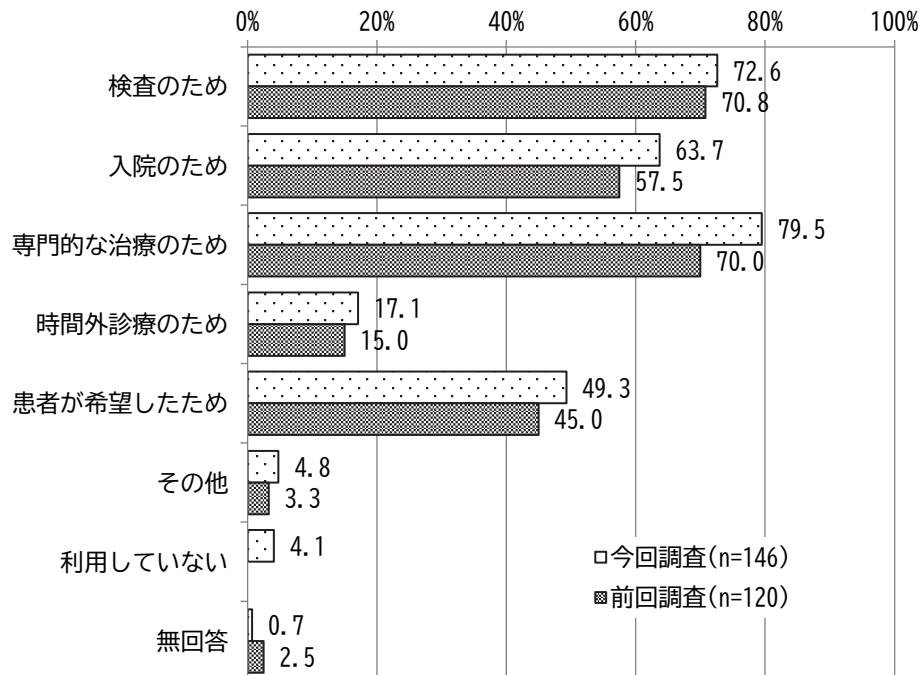
「満足」と「ほぼ満足」の合計は59.6%で、前回調査（63.4%）と比較すると3.8ポイント減少しています。



問5 診療所の方にお伺いします。どのようなことで区内病院を医療連携で利用しましたか。（〇はいくつでも）

「専門的な治療のため」が79.5%で最も多く、「検査のため」（72.6%）、「入院のため」（63.7%）、「患者が希望したため」（49.3%）が続きます。

前回調査と比較すると、「専門的な治療のため」が9.5ポイント増加しています。



※前回調査と選択肢の構成が一部異なります

【その他の回答（抜粋）】

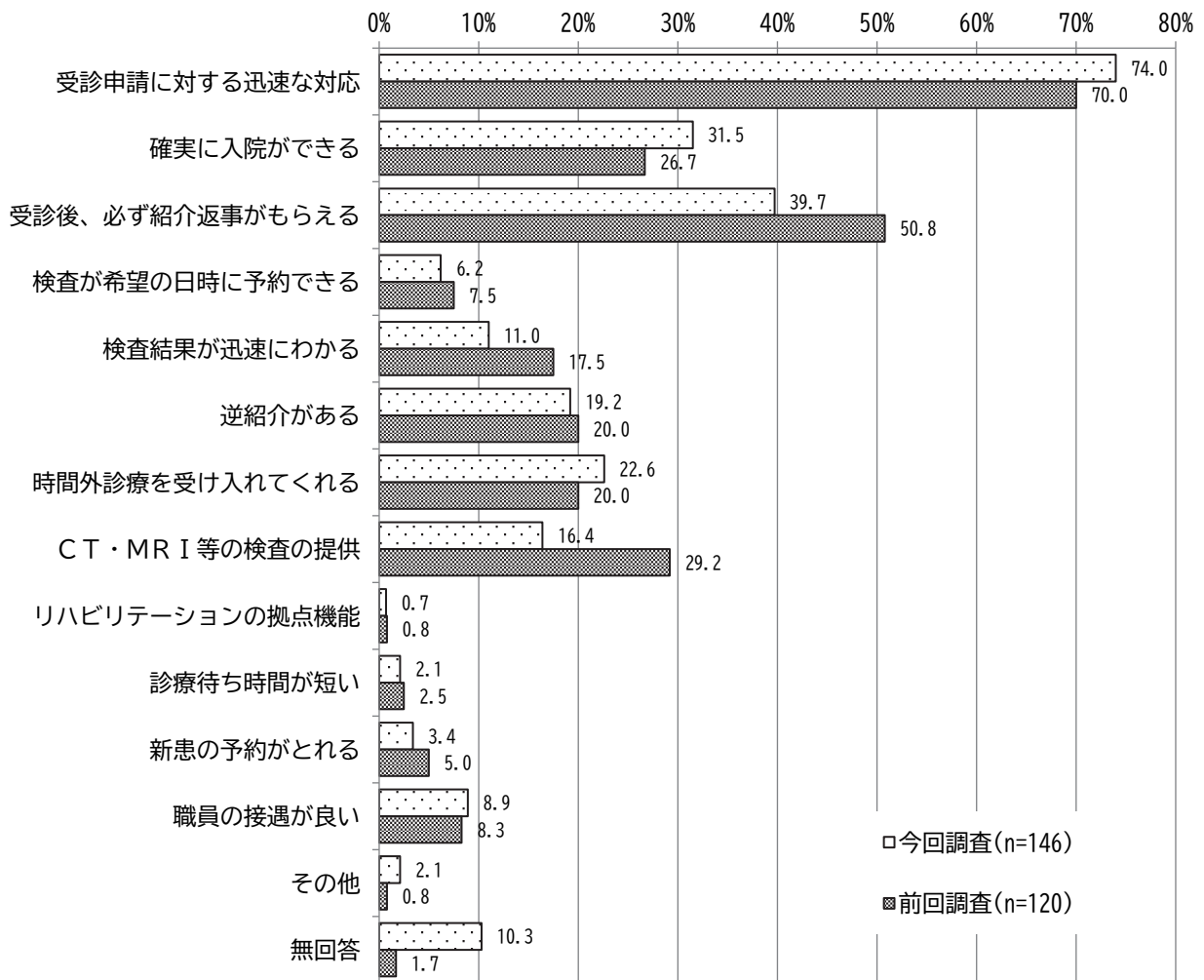
- ・ 発熱外来受診のため
- ・ 救急対応もして頂けるから（永寿総合病院）
- ・ 手術が必要な場合、緊急対応が必要な場合
- ・ 他科への紹介

問6 診療所の方にお伺いします。区内の病院と医療連携する上で期待することは何ですか。

（〇は3つまで）

「受診申請に対する迅速な対応」が74.0%で最も多く、「受診後、必ず紹介返事がもらえる」（39.7%）、「確実に入院ができる」（31.5%）、「時間外診療を受け入れてくれる」（22.6%）が続きます。

前回調査と比較すると、「CT・MRI等の検査の提供」が12.8ポイント、「受診後、必ず紹介返事がもらえる」が11.1ポイント減少しています。



【その他の回答（抜粋）】

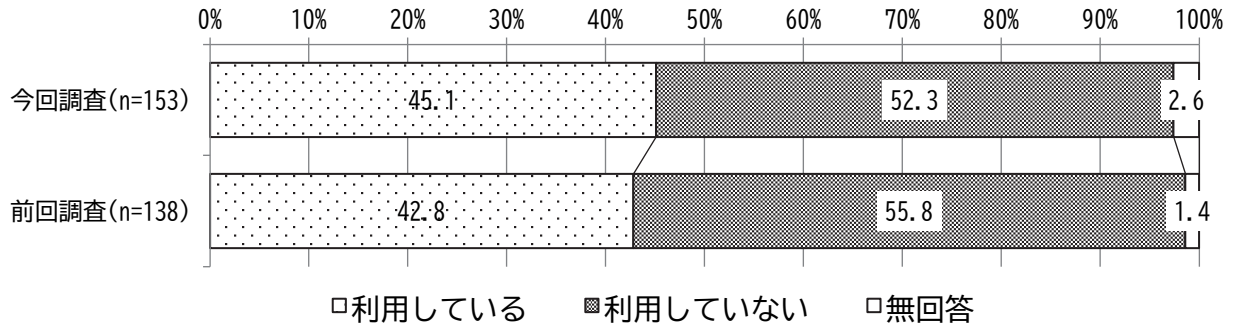
- ・ 的確な診断・治療ができる事
- ・ 絶対に断らない
- ・ 患者・医療機関とも満足できる検査、治療ができることが大事です。

3.1 台東区医療意識調査（診療所・病院）

■診療所・病院の方にお伺いします

問7 診療所・病院の方にお伺いします。あなたは、医療連携として区立台東病院を利用していますか。（○は1つ）

「利用している」は45.1%、「利用していない」は52.3%となっています。

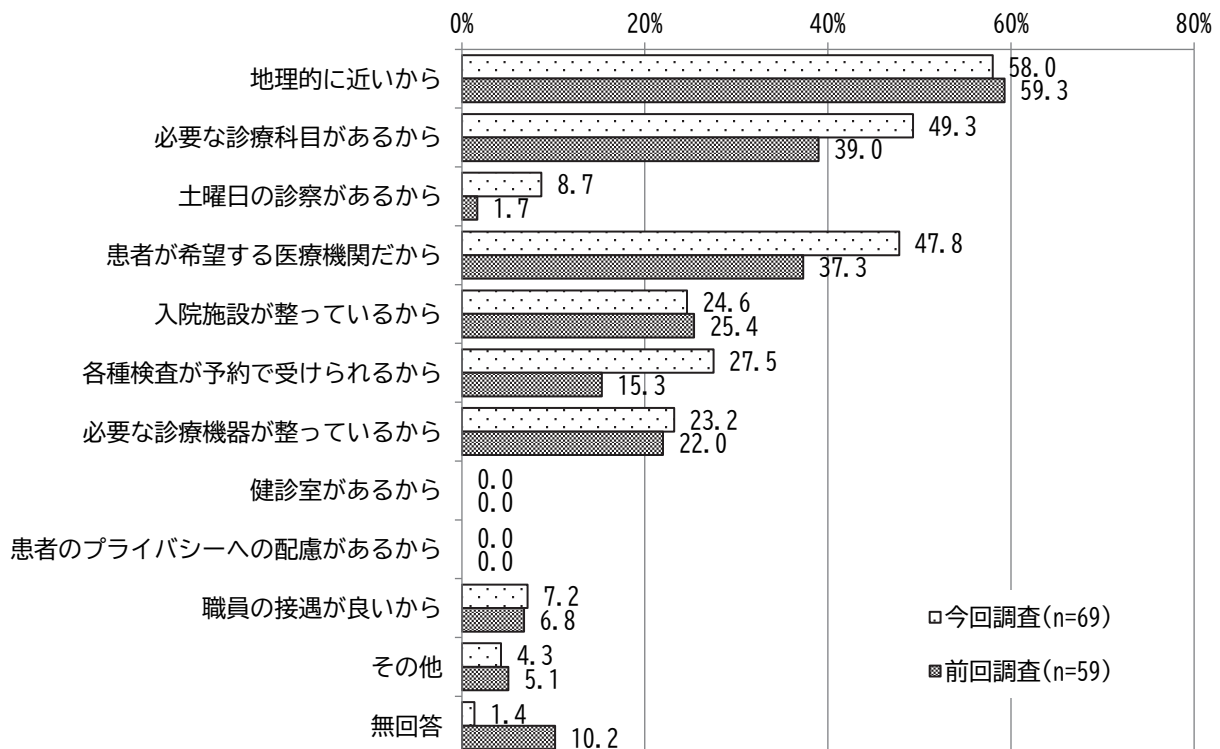


（問7で「利用している」とお答えの方）

問8 どのようなことで区立台東病院を利用しましたか。（○はいくつでも）

「地理的に近いから」が58.0%で最も多く、「必要な診療科目があるから」（49.3%）、「患者が希望する医療機関だから」（47.8%）、「各種検査が予約で受けられるから」（27.5%）が続きます。

前回調査と比較すると、「患者が希望する医療機関だから」が10.5ポイント、「必要な診療科目があるから」が10.3ポイント増加しています。



【その他の回答（抜粋）】

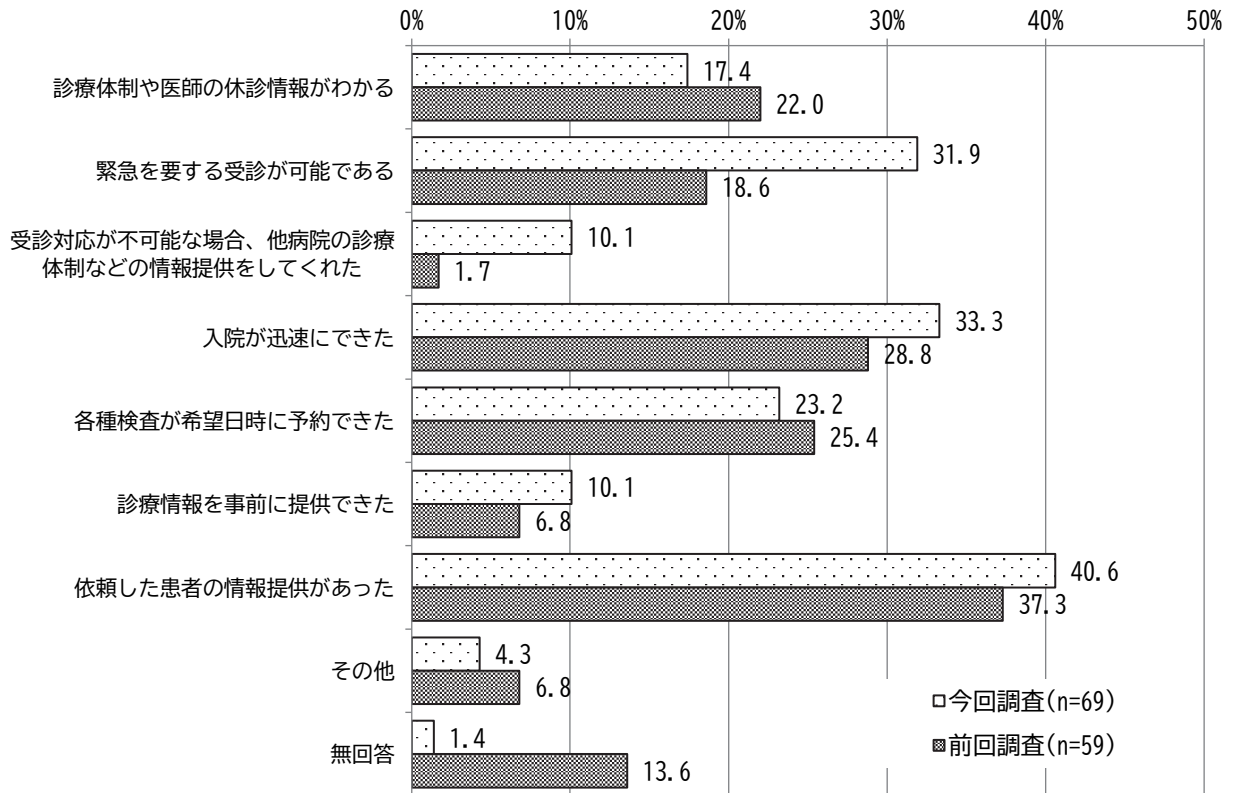
- ・ 病院の役割に合致した患者の紹介
- ・ 高齢者、特に在宅医療などの患者に対する対応が優れている。
- ・ 信頼できる整形外科、手術担当の医師が診て下さるからです。

（問7で「利用している」とお答えの方）

問9 区立台東病院を医療連携で利用してみて良かったことは何ですか。（〇はいくつでも）

「依頼した患者の情報提供があった」が40.6%で最も多く、「入院が迅速にできた」（33.3%）、
「緊急を要する受診が可能である」（31.9%）、「各種検査が希望日時に予約できた」（23.2%）
が続きます。

前回調査と比較すると、「緊急を要する受診が可能である」が13.3ポイント増加しています。

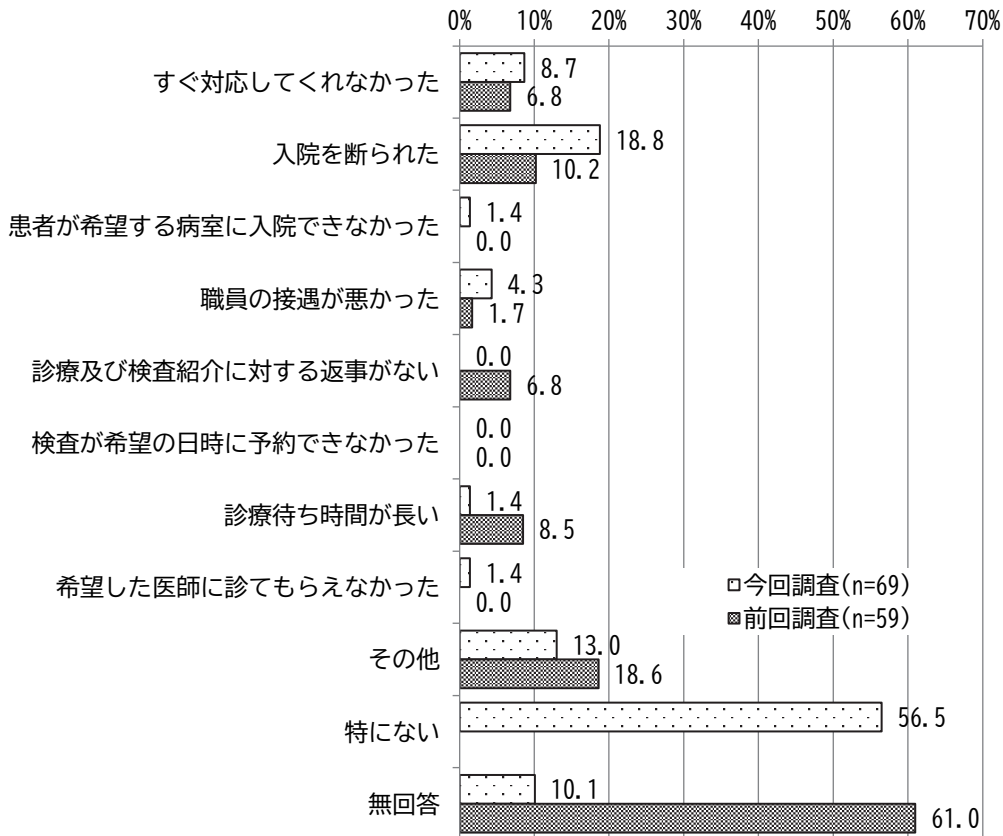


（問7で「利用している」とお答えの方）

問10 区立台東病院を医療連携で利用してみて不満だったことは何ですか。（〇はいくつでも）

「特にない」が56.5%で最も多く、「入院を断られた」（18.8%）、「すぐ対応してくれなかった」（8.7%）が続きます。

前回調査と比較すると、「入院を断られた」が8.6ポイント増加しています。（前回調査には「特にない」の選択肢がなかったため、「無回答」が大幅に減少していると考えられます。）



※前回調査と選択肢の構成が一部異なります

【その他の回答（抜粋）】

- ・ MRIの予約枠が取りづらい（当日緊急）。翌日以降については不満なし。
- ・ 受診をお願いした際に、すぐでなくてもよいし、また、他院に紹介になってもよいので、対応してもらいたい。
- ・ 特にありません。過去に妊娠中の尿路感染の患者さんを紹介した際、妊婦は診療出来ないと言われ、患者の家族から不誠実なクレームを受けました。事前にわかっていたらよかったです。
- ・ 非常勤医師の対応が悪い。

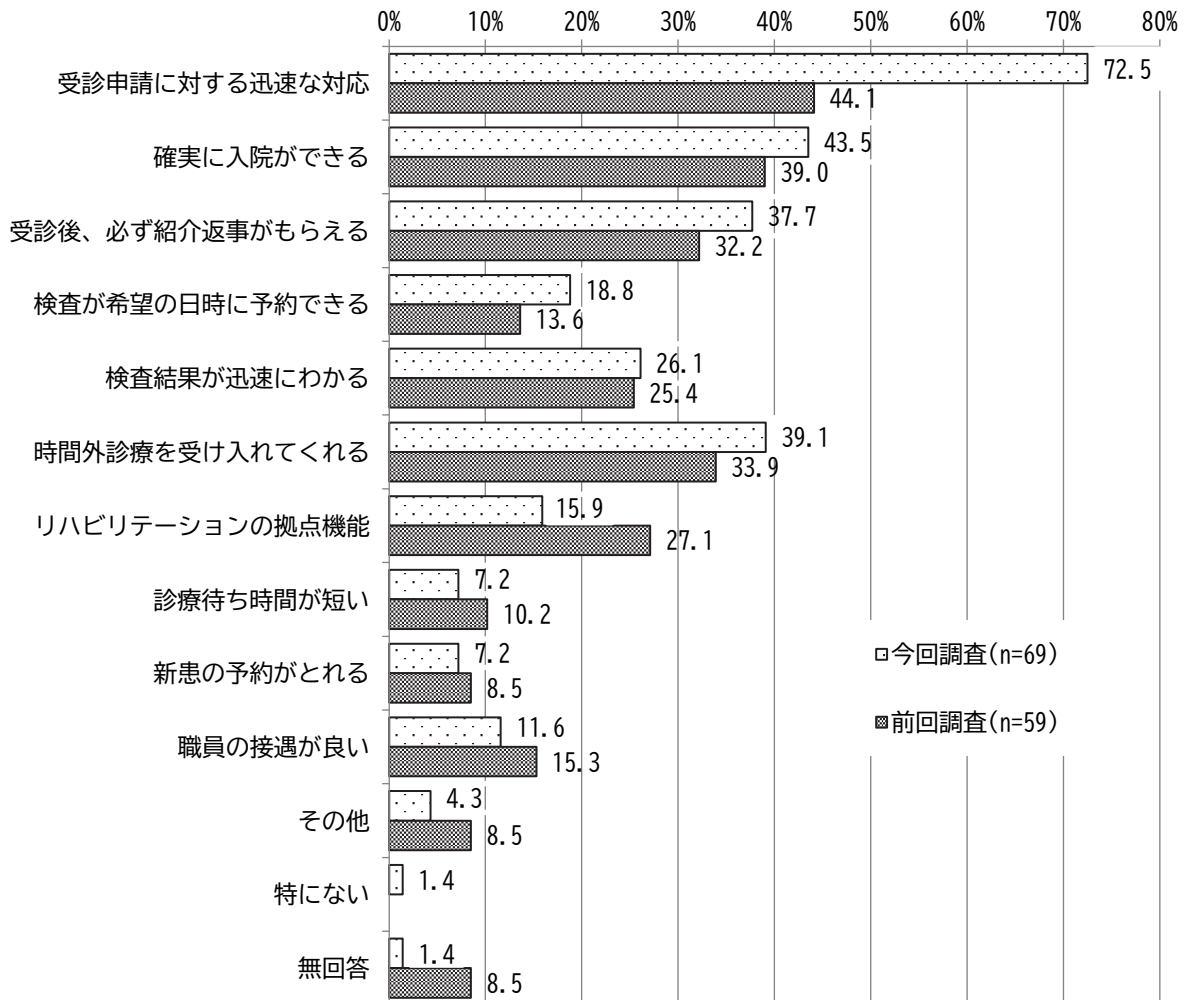
3.1 台東区医療意識調査（診療所・病院）

（問7で「利用している」とお答えの方）

問11 あなたが区立台東病院に期待することは何ですか。（〇はいくつでも）

「受診申請に対する迅速な対応」が72.5%で最も多く、「確実に入院ができる」（43.5%）、「時間外診療を受け入れてくれる」（39.1%）、「受診後、必ず紹介返事がもらえる」（37.7%）が続きます。

前回調査と比較すると、「受診申請に対する迅速な対応」が28.4ポイント増加しています。



※前回調査と選択肢の構成が一部異なります

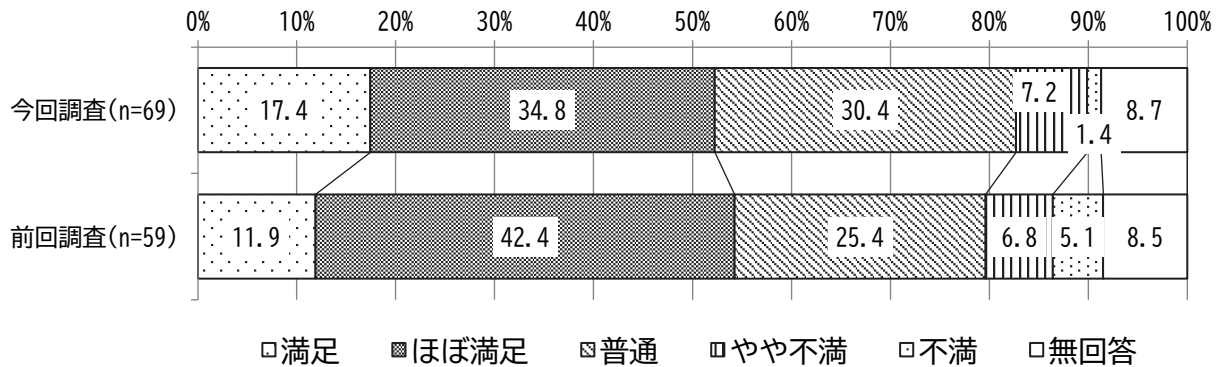
3.1 台東区医療意識調査（診療所・病院）

（問7で「利用している」とお答えの方）

問12 区立台東病院との医療連携について、あなたの満足度はどうですか。（○は1つ）

「ほぼ満足」が 34.8%で最も多く、「普通」(30.4%)、「満足」(17.4%)、「やや不満」(7.2%)が続きます。

「満足」、「ほぼ満足」の合計は 52.2%で、前回調査(54.3%)と比較すると 2.1 ポイント減少、「やや不満」、「不満」の合計は 8.6%で、前回調査(11.9%)と比較すると 3.3 ポイント減少しています。

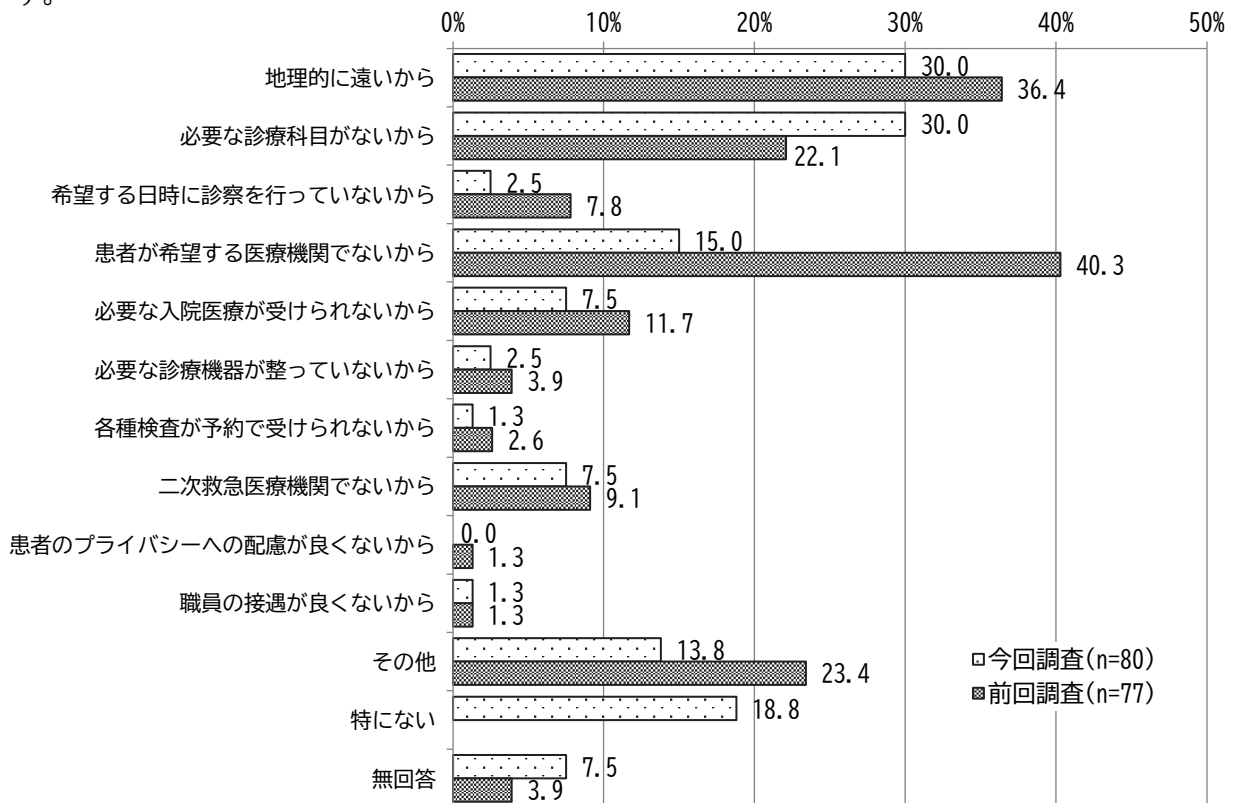


（問7で「利用していない」とお答えの方）

問13 区立台東病院を利用していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

「地理的に遠いから」と「必要な診療科目がないから」が 30.0%で多く、「特にない」(18.8%)、「患者が希望する医療機関でないから」(15.0%)が続きます。

前回調査と比較すると、「患者が希望する医療機関でないから」が 25.3 ポイント減少しています。



※前回調査と選択肢の構成が一部異なります

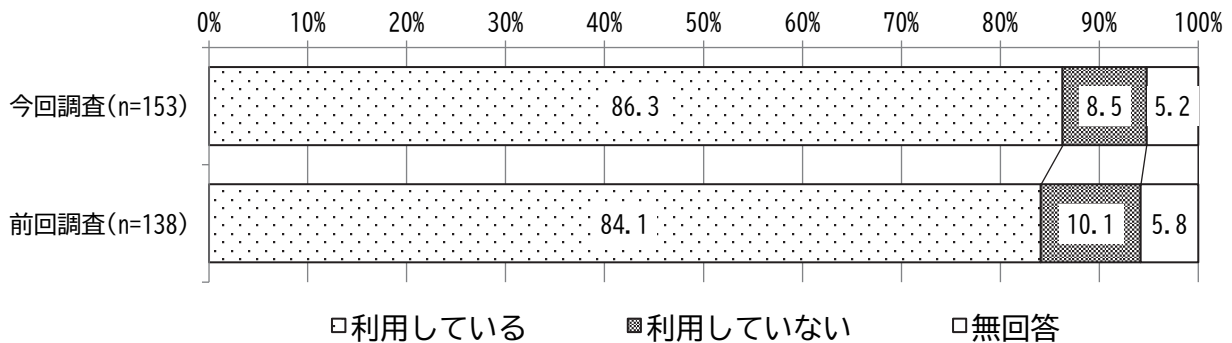
3.1 台東区医療意識調査（診療所・病院）

【その他の回答（抜粋）】

- ・ 永寿病院が近く、よく対応してもらうので
- ・ 必要な医療機能、必要な治療が受けられないから
- ・ これまでの病院連携体制で十分なので
- ・ 当院は耳鼻科ですが、台東病院の耳鼻科担当医は曜日によって変わってしまうし、また、医者がよく変わってしまうから
- ・ どのような診療体制なのか、よく知らないため（例えば永寿病院は、どの科がどのような疾患に対応しているのかお知らせをくれる）
- ・ 入院受け入れをなかなかしてくれないから

問14 診療所・病院の方にお伺いします。あなたは、医療連携として中核病院（永寿総合病院）を利用していますか。（○は1つ）

「利用している」は86.3%、「利用していない」は8.5%となっています。
前回調査と比較すると、「利用している」が2.2ポイント増加しています。

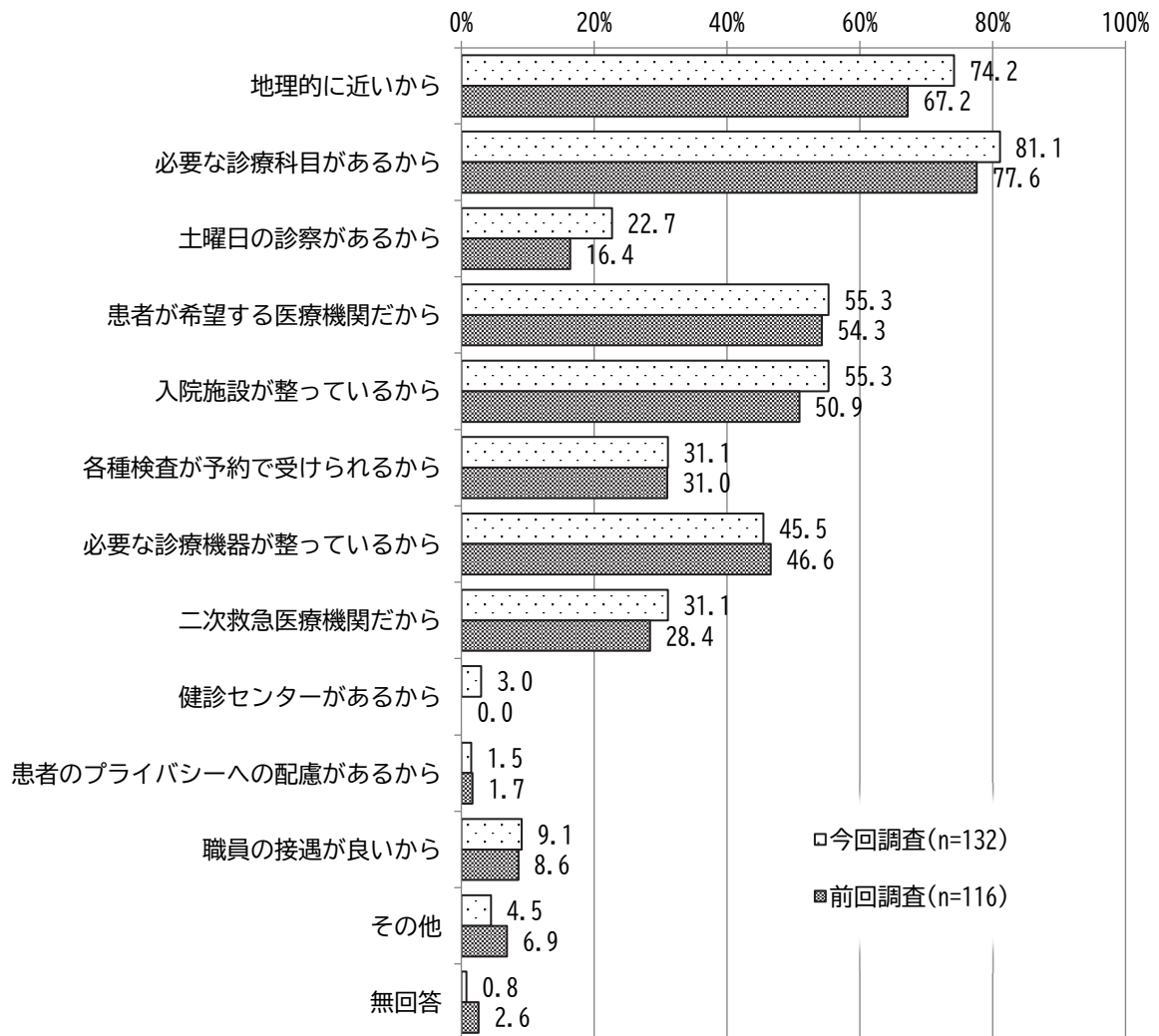


（問14で「利用している」とお答えの方）

問15 どのようなことで中核病院を利用しましたか。（〇はいくつでも）

「必要な診療科目があるから」が81.1%で最も多く、「地理的に近いから」（74.2%）、「患者が希望する医療機関だから」（55.3%）、「入院施設が整っているから」（55.3%）が続きます。

前回調査と比較すると、「地理的に近いから」が7.0ポイント、「土曜日の診察があるから」が6.3ポイント増加しています。



【その他の回答】

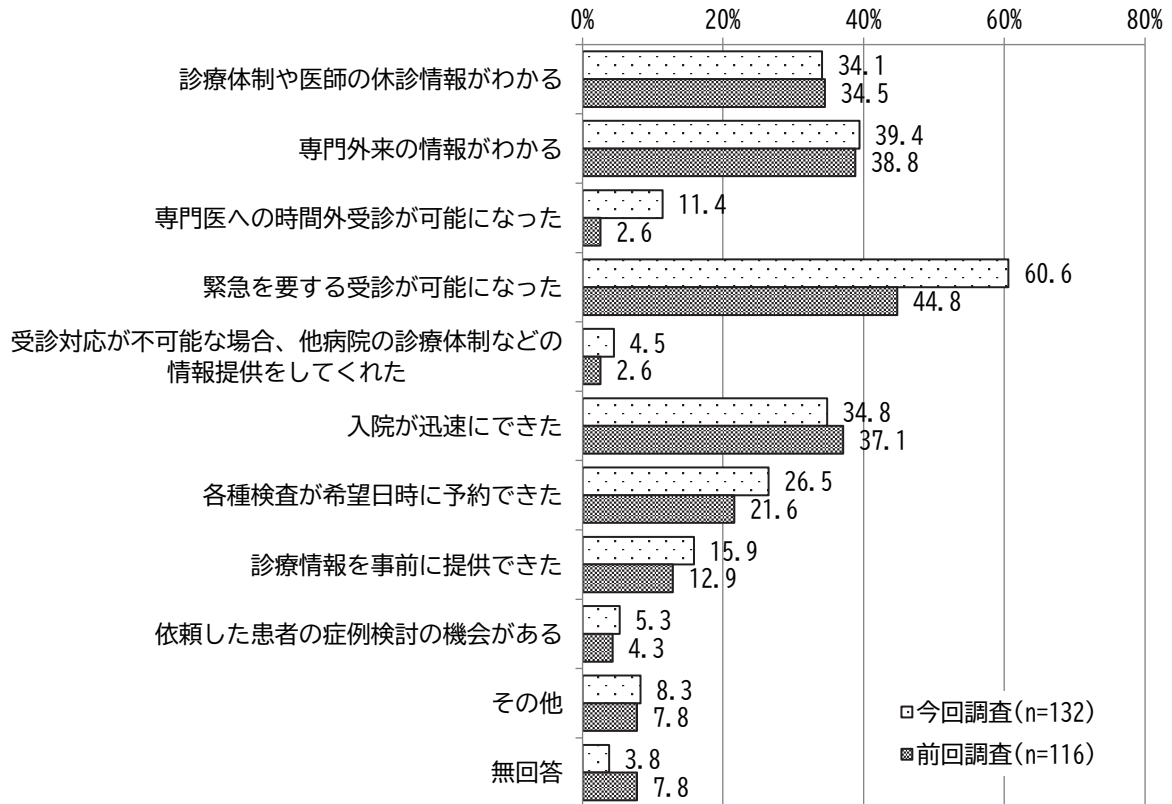
- ・ 必要な医療機能（検査、手術等）が備わっているから
- ・ 他の病院が休みだから
- ・ すぐに対応してくれる。病院連携の手本です。
- ・ 主に緩和ケアにお世話になっている。

（問14で「利用している」とお答えの方）

問16 中核病院を医療連携で利用してみて良かったことは何ですか。（〇はいくつでも）

「緊急を要する受診が可能になった」が60.6%で最も多く、「専門外来の情報がわかる」（39.4%）、「入院が迅速にできた」（34.8%）、「診療体制や医師の休診情報がわかる」（34.1%）が続きます。

前回調査と比較すると、「緊急を要する受診が可能になった」が15.8ポイント増加しています。



【その他の回答（抜粋）】

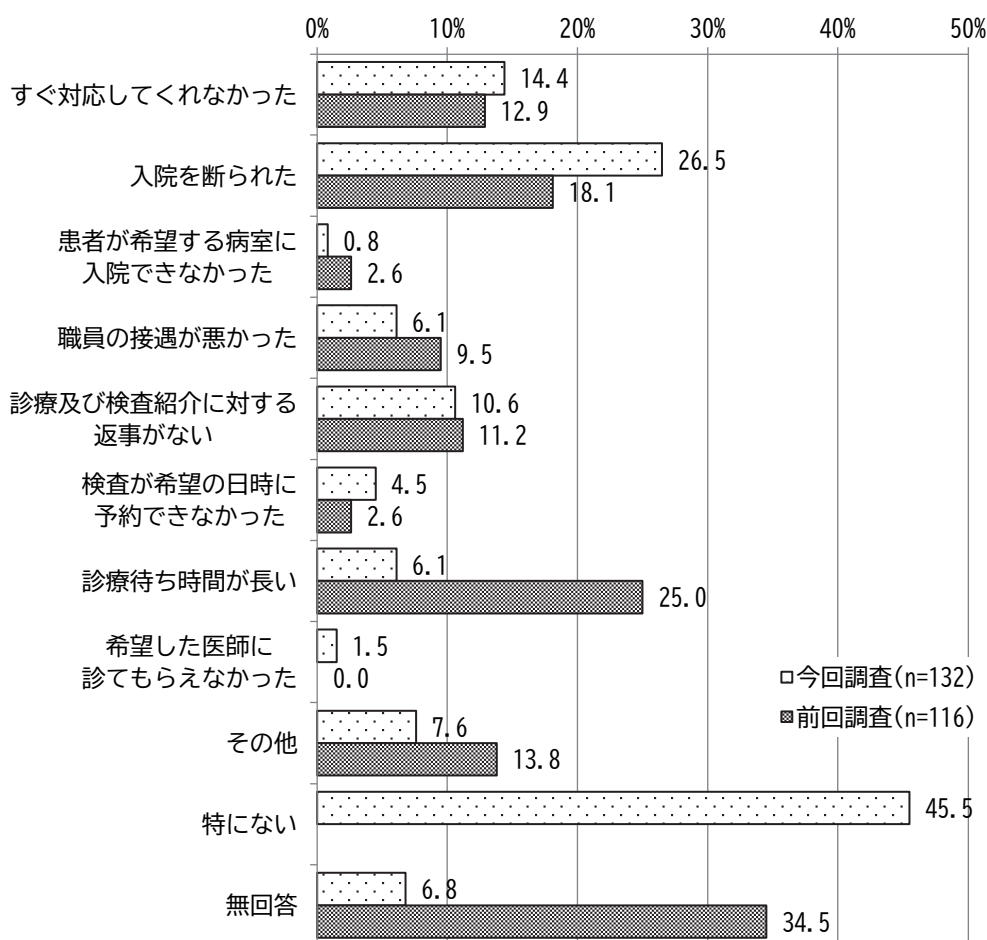
- ・ 患者さんのお住まいが近いので便利です。
- ・ 必要な検査・治療を受けられた。
- ・ 特にトラブルの経験がない。

（問14で「利用している」とお答えの方）

問17 中核病院を医療連携で利用してみて不満だったことは何ですか。（〇はいくつでも）

「特にない」が45.5%で最も多く、「入院を断られた」（26.5%）、「すぐ対応してくれなかった」（14.4%）、「診療及び検査紹介に対する返事がない」（10.6%）が続きます。

前回調査と比較すると、「入院を断られた」が8.4ポイント増加し、「診療待ち時間が長い」が18.9ポイント減少しています。（前回調査には「特にない」の選択肢がなかったため、「無回答」が大幅に減少していると考えられます。）



※前回調査と選択肢の構成が一部異なります

【その他の回答（抜粋）】

- ・ 部門間の連絡が取れていない点
- ・ TELに出ないことあり
- ・ 夜間救急は以前よりよいが、断られることあり
- ・ 入院後に重症化し他院に送られた患者がいた。
- ・ 入院中にADL低下し、歩けなくなって退院してきたケースがあった。

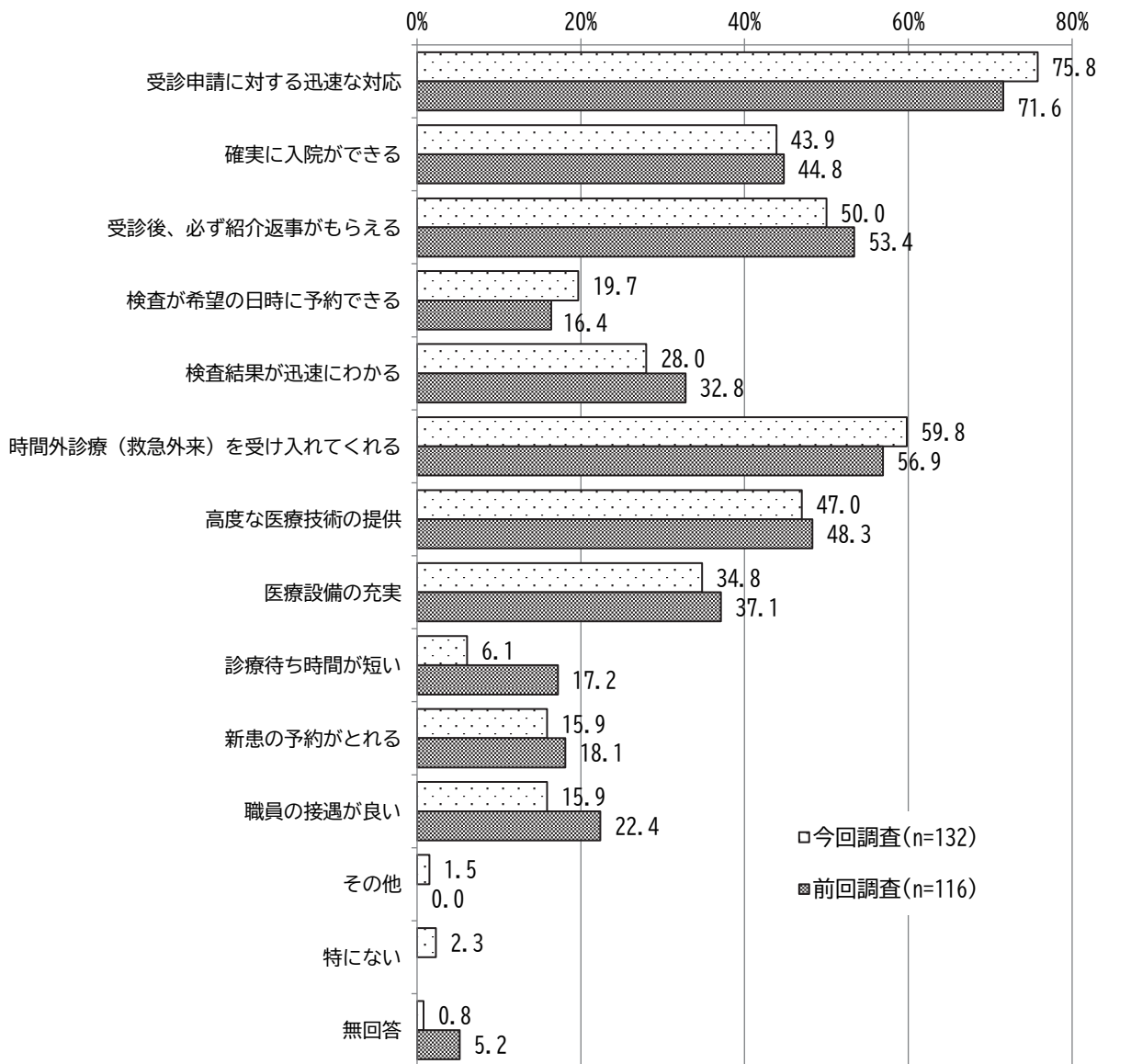
3.1 台東区医療意識調査（診療所・病院）

（問14で「利用している」とお答えの方）

問18 あなたが中核病院に期待することは何ですか。（〇はいくつでも）

「受診申請に対する迅速な対応」が75.8%で最も多く、「時間外診療（救急外来）を受け入れてくれる」（59.8%）、「受診後、必ず紹介返事がもらえる」（50.0%）、「高度な医療技術の提供」（47.0%）が続きます。

前回調査と比較すると、「診療待ち時間が短い」が11.1ポイント減少しています。



【その他の回答】

- ・ 横の連携をよくしてほしい。
- ・ 入院できないからといって外来診療を断らない。

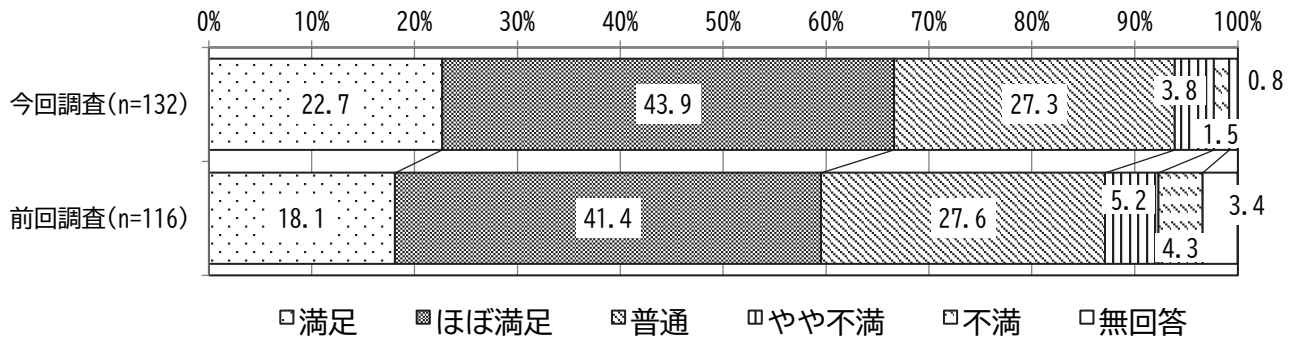
3.1 台東区医療意識調査（診療所・病院）

（問14で「利用している」とお答えの方）

問19 中核病院との医療連携について、あなたの満足度はどうですか。（○は1つ）

「ほぼ満足」が43.9%で最も多く、「普通」（27.3%）、「満足」（22.7%）、「やや不満」（3.8%）が続きます。

「満足」と「ほぼ満足」の合計は66.6%で、前回調査（59.5%）と比較すると、7.1ポイント増加しています。



（問14で「利用していない」とお答えの方）

問20 中核病院を利用していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

「特にない」（38.5%）、「必要な診療科目がないから」（23.1%）、「必要な入院医療が受けられないから」（23.1%）、「患者が希望する医療機関でないから」（15.4%）、「職員の接遇が良くないから」（15.4%）などとなっています。

項目名【複数回答】	集計値	構成比 (%)
地理的に遠いから	-	-
必要な診療科目がないから	3	23.1
希望する日に診察を行っていないから	-	-
患者が希望する医療機関でないから	2	15.4
必要な入院医療が受けられないから	3	23.1
必要な診療機器が整っていないから	-	-
各種検査が予約で受けられないから	1	7.7
患者のプライバシーへの配慮が良くないから	-	-
職員の接遇が良くないから	2	15.4
その他	1	7.7
特にない	5	38.5
無回答	1	7.7
n = 13		

【その他の回答】

- ・ 連携希望で申し出たが、受付で拒否されたから

3.1 台東区医療意識調査（診療所・病院）

■病院の方にお伺いします

問2 1 病院の方にお伺いします。区内の診療所に対する逆紹介は前年度に比べ増えていますか。（○は1つ）

「増えている」と「変わらない」が40.0%で最も多く、「逆紹介を行っていない」（20.0%）、が続きます。

項目名	集計値	構成比 (%)
増えている	2	40.0
変わらない	2	40.0
減っている	-	-
逆紹介を行っていない	1	20.0
無回答	-	-
n=5	5	100.0

問2 2 病院の方にお伺いします。あなたは、区内の診療所に対する逆紹介について、どのように考えていますか。（○は1つ）

「積極的に利用したい」が60.0%で最も多く、「条件が合えば利用したい」、「利用するつもりはない」がそれぞれ20.0%となっています。

項目名	集計値	構成比 (%)
積極的に利用したい	3	60.0
条件が合えば利用したい	1	20.0
特に利用することは考えていない	-	-
あまり利用するつもりはない	-	-
利用するつもりはない	1	20.0
無回答	-	-
n=5	5	100.0

3.1 台東区医療意識調査（診療所・病院）

問23 病院の方にお伺いします。以下の病院の中で医療連携（病病連携）として利用した病院がありますか。（〇はいくつでも）

「浅草寺病院」、「その他（区外の病院など）」が100.0%、「永寿総合病院」が80.0%となっています。

項目名【複数回答】	集計値	構成比（%）
浅草病院	3	60.0
上野病院	3	60.0
永寿総合病院	4	80.0
永寿総合病院柳橋分院	2	40.0
浅草寺病院	5	100.0
区立台東病院	3	60.0
土田病院	2	40.0
同善病院	3	60.0
その他（区外の病院など）	5	100.0
ない	-	-
無回答	-	-
n=5		

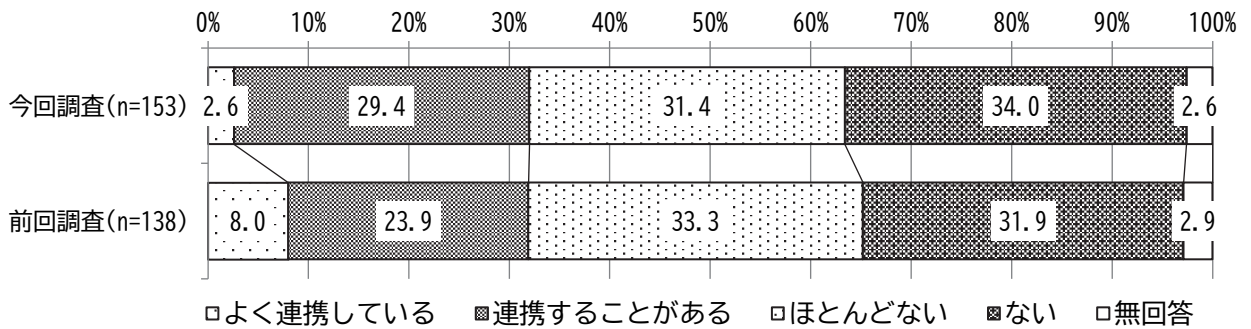
(3) かかりつけ歯科医との連携について

■診療所・病院の方にお伺いします

問24 診療所・病院の方にお伺いします。患者の「かかりつけ歯科医」と連携をすることがありますか。（○は1つ）

「ない」が34.0%で最も多く、「ほとんどない」が31.4%、「連携することがある」が29.4%、「よく連携している」が2.6%となっています。

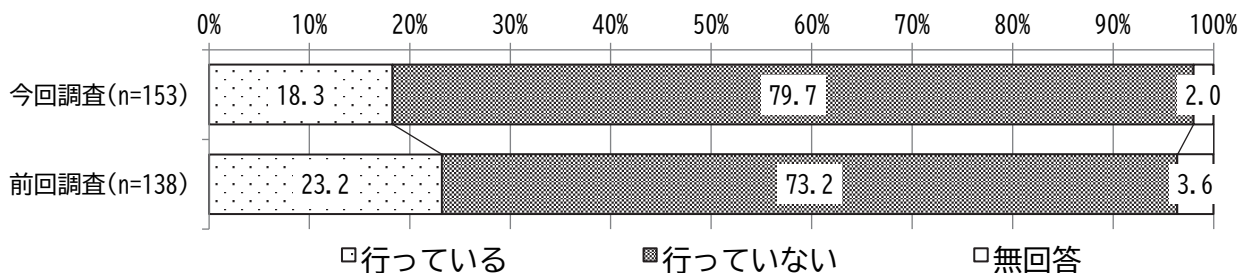
「よく連携している」と「連携することがある」の合計は、前回調査とほぼ変わりありません。



問25 診療所・病院の方にお伺いします。摂食嚥下や嚥下障害に関する治療や指導を行っていますか。（○は1つ）

「行っている」が18.3%、「行っていない」が79.7%となっています。

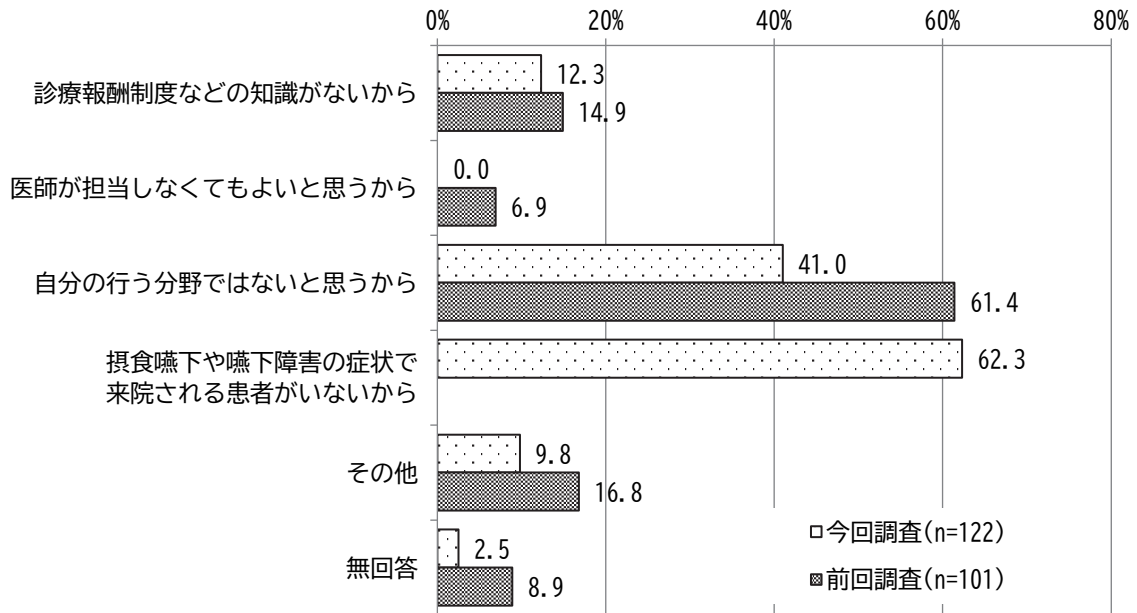
前回調査と比較すると、「行っている」が4.9ポイント減少しています。



（問25で「行っていない」とお答えの方）

問26 治療や指導を行わない理由は何ですか。（複数回答）

「摂食嚥下や嚥下障害の症状で来院される患者がいないから」が62.3%で最も多く、「自分の行う分野ではないと思うから」（41.0%）、「診療報酬制度などの知識がないから」（12.3%）、「その他」（9.8%）が続きます。



※前回調査と選択肢の構成が一部異なります

【その他の回答（抜粋）】

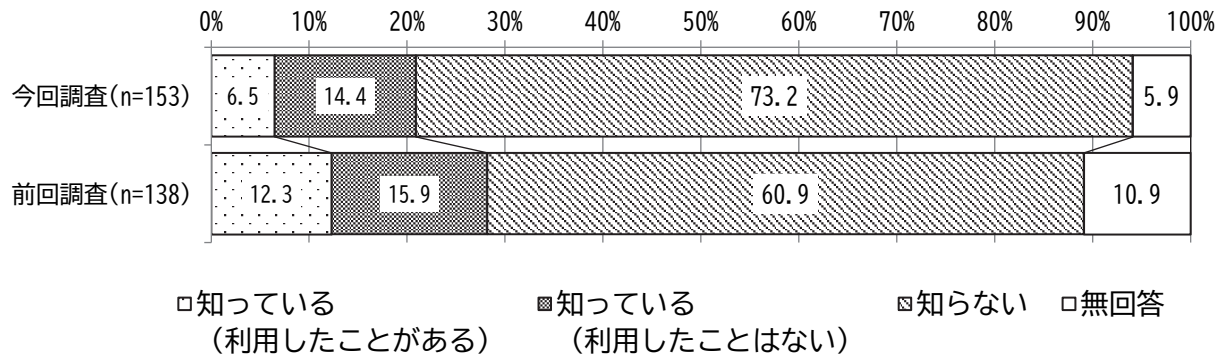
- ・ 嚥下リハの効果に疑問を感じるから
- ・ 指導経験がなく、知識も経験が乏しい状態では、無責任であると考えているから
- ・ 専門医のいる医療機関に紹介している。

3.1 台東区医療意識調査（診療所・病院）

問27 台東区では、三ノ輪福祉センター内に、歯科医師会に委託して口腔ケアや口腔に関する相談を受ける「三ノ輪口腔ケアセンター」を設置しています。そのことをご存知ですか。（〇は1つ）

「知らない」が73.2%、「知っている（利用したことはない）」が14.4%、「知っている（利用したことがある）」が6.5%となっています。

前回調査と比較すると、「知らない」が12.3ポイント増加しています。



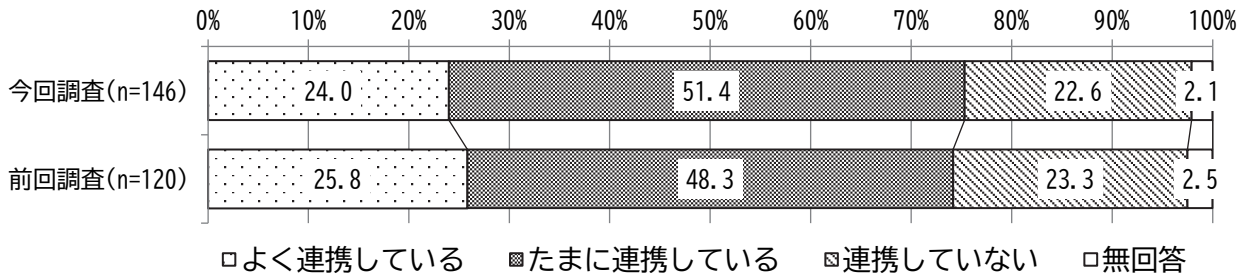
(4) 診診連携について

■診療所の方にお伺いします

問28 診療所の方にお伺いします。診療所と診療所の医療連携（診診連携）を行っていますか。（○は1つ）

「たまに連携している」が51.4%で最も多く、「よく連携している」(24.0%)、「連携していない」(22.6%)が続きます。

前回調査と概ね同様の傾向となっています。

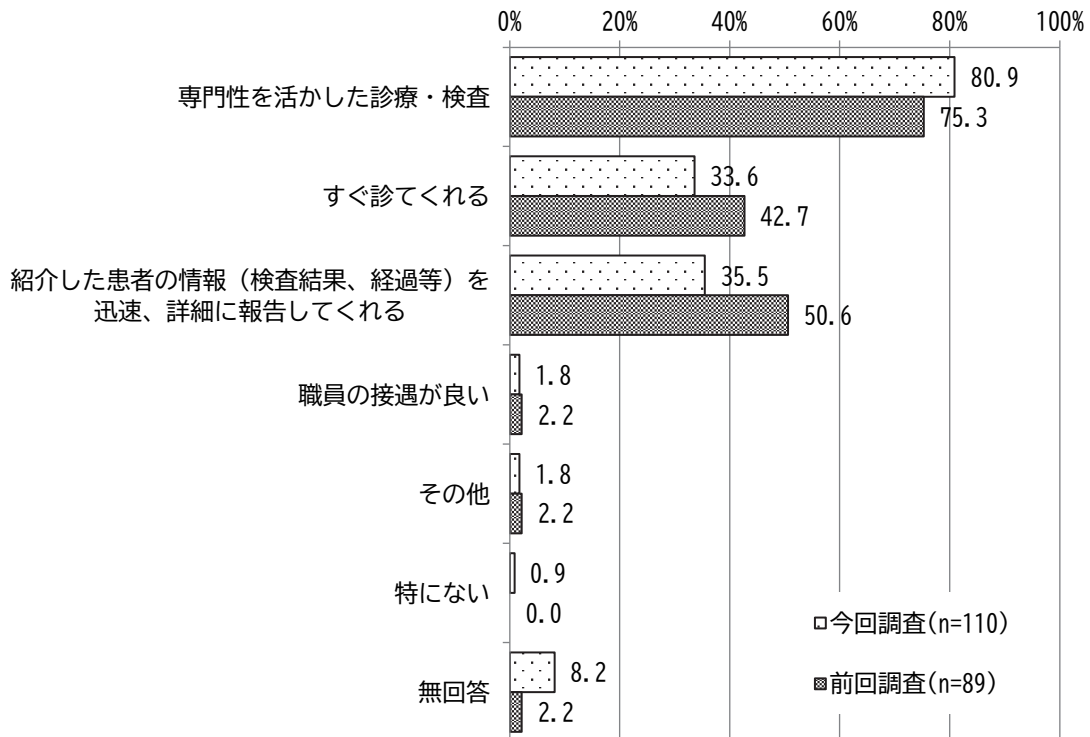


(問28で「よく連携している」か「たまに連携している」とお答えの方)

問29 診診連携に期待することは何ですか。（○は2つまで）

「専門性を活かした診療・検査」が80.9%で最も多く、「紹介した患者の情報（検査結果、経過等）を迅速、詳細に報告してくれる」(35.5%)、「すぐ診てくれる」(33.6%)が続きます。

前回調査と比較すると、「紹介した患者の情報（検査結果、経過等）を迅速、詳細に報告してくれる」が15.1ポイント減少し、「専門性を活かした診療・検査」が5.6ポイント増加しています。



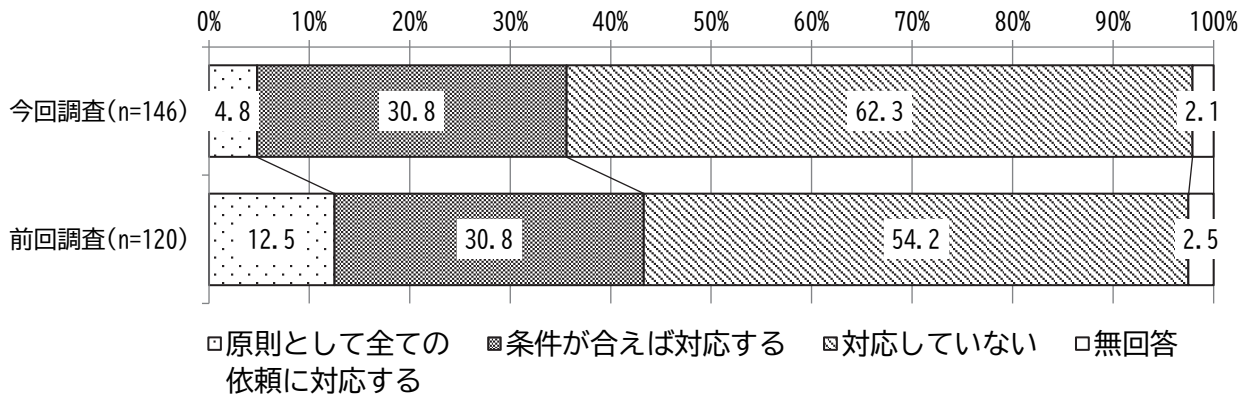
(5) 在宅医療について

■診療所の方にお伺いします

問30 診療所の方にお伺いします。在宅医療(訪問診療あるいは往診)の依頼があったとき、どのように対応していますか。(○は1つ)

「対応していない」が62.3%で最も多く、「条件が合えば対応する」(30.8%)、「原則として全ての依頼に対応する」(4.8%)が続きます。

前回調査と比較すると、「対応していない」が8.1ポイント増加しています。

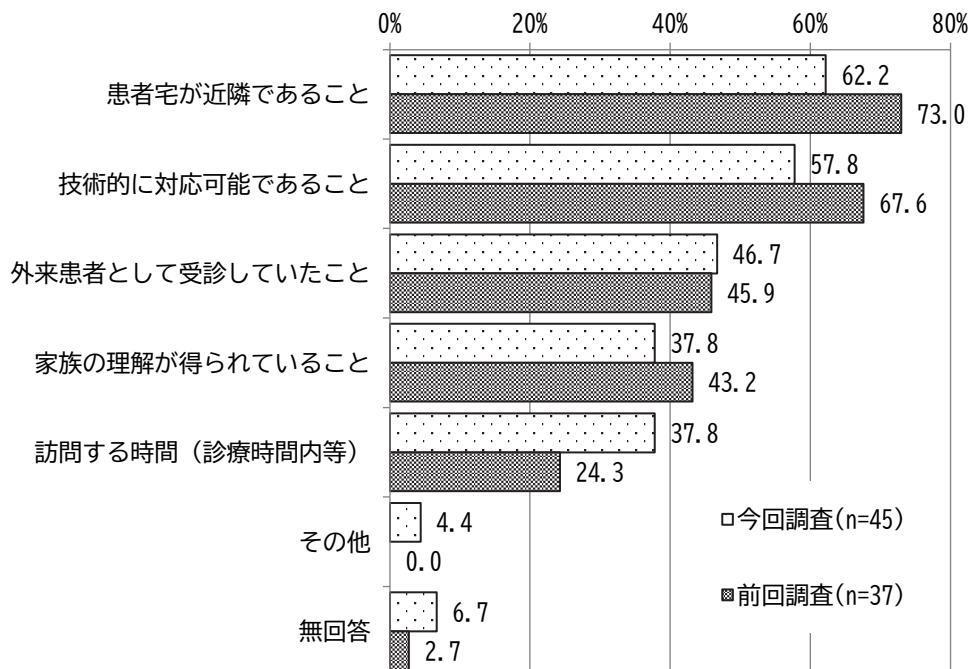


(問30で「条件が合えば対応する」とお答えの方)

問31 その条件で重視するものをお選びください。(○は3つまで)

「患者宅が近隣であること」が62.2%で最も多く、「技術的に対応可能であること」(57.8%)、「外来患者として受診していたこと」(46.7%)、「家族の理解が得られていること」(37.8%)、「訪問する時間(診療時間内等)」(37.8%)が続きます。

前回調査と比較すると、「訪問する時間(診療時間内等)」が13.5ポイント増加し、「患者宅が近隣であること」が10.8ポイント減少しています。

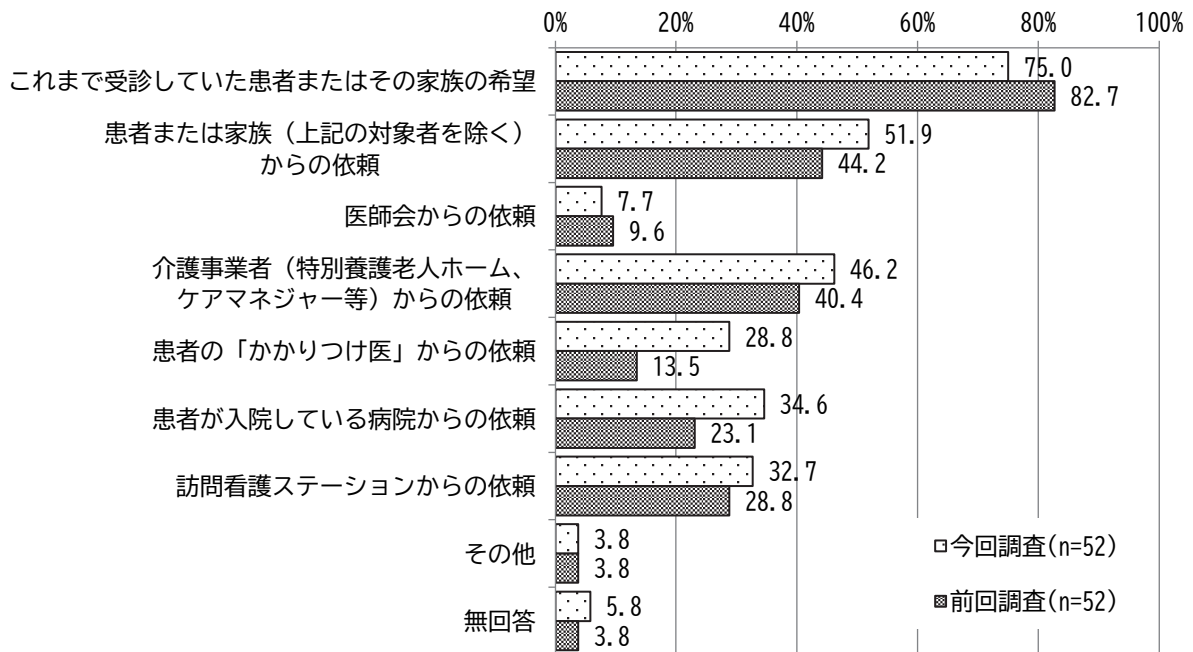


（問30で「原則として全ての依頼に対応する」か「条件が合えば対応する」とお答えの方）

問32 在宅医療の依頼はどこからありますか。（複数回答）

「これまで受診していた患者またはその家族の希望」が75.0%で最も多く、「患者または家族（上記の対象者を除く）からの依頼」（51.9%）、「介護事業者（特別養護老人ホーム、ケアマネジャー等）からの依頼」（46.2%）、「患者が入院している病院からの依頼」（34.6%）が続きます。

前回調査と比較すると、「患者の「かかりつけ医」からの依頼」が15.3ポイント、「患者が入院している病院からの依頼」が11.5ポイントそれぞれ増加しています。



【その他の回答】

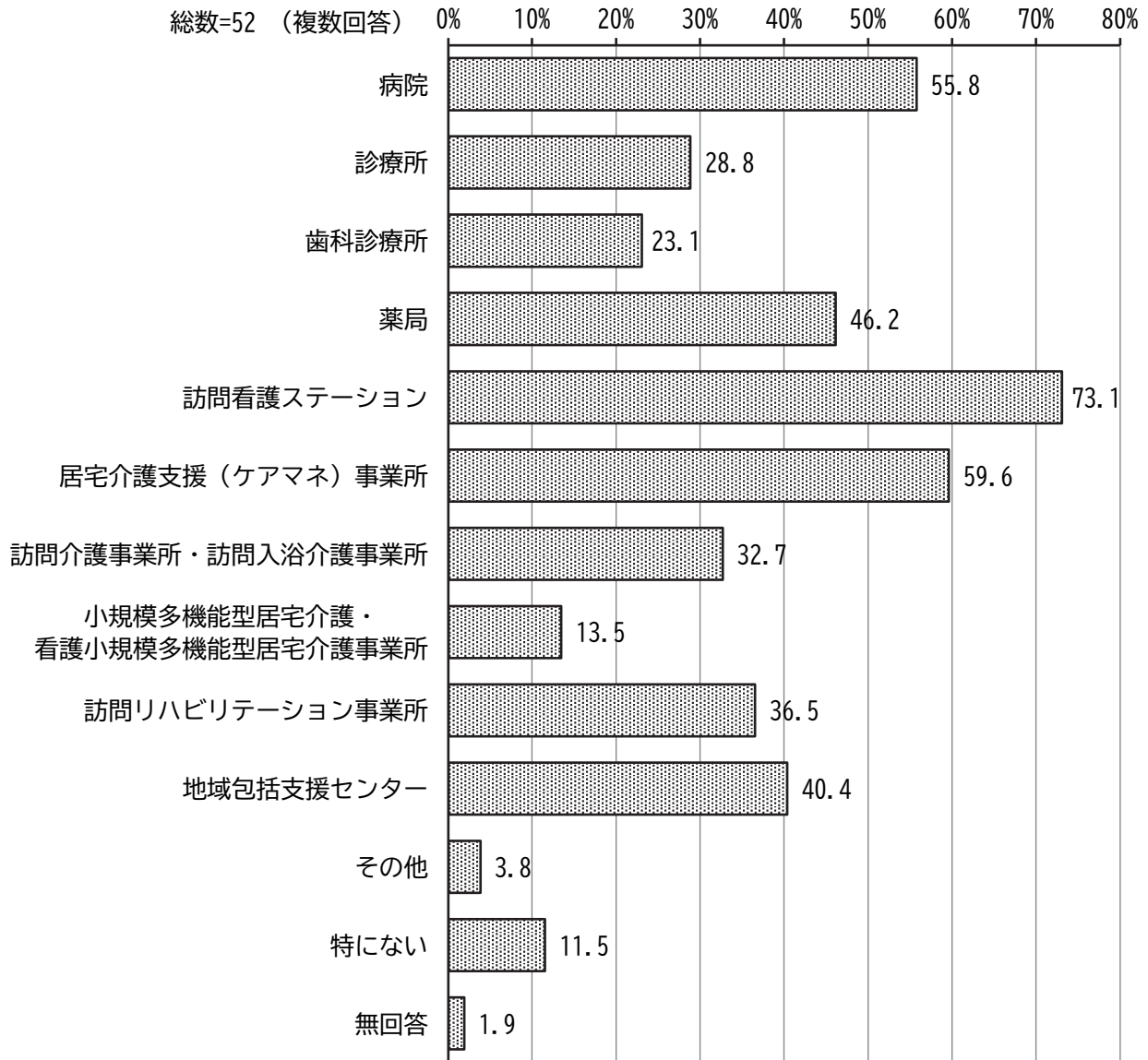
- ・ 行政、地域包括支援センター
- ・ 現在までに依頼はありません。

3.1 台東区医療意識調査（診療所・病院）

（問30で「原則として全ての依頼に対応する」か「条件が合えば対応する」とお答えの方）

問33 在宅医療を行う上で、どのような医療機関や介護サービス事業所と連携を図っていますか。（複数回答）

「訪問看護ステーション」が73.1%で最も多く、「居宅介護支援（ケアマネ）事業所」（59.6%）、「病院」（55.8%）、「薬局」（46.2%）が続きます。



【その他の回答】

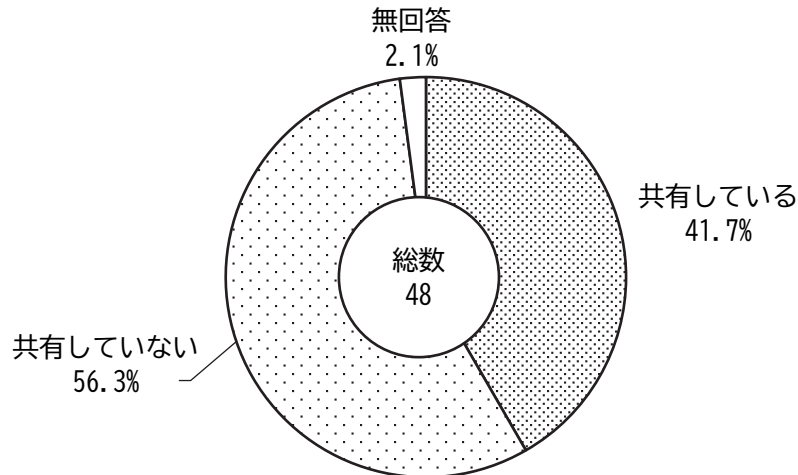
- ・ 現在まで依頼はありません。

（問 33 で連携している医療機関や介護サービス事業所があるとお答えの方）

問34 ICTを活用して多機関の多職種と患者情報等を共有(※)していますか。

※タブレット端末やパソコンを用いて、在宅療養中の患者を支える多職種連携システム（MCS、TRITRUS、バイタルリンク等）を活用すること。

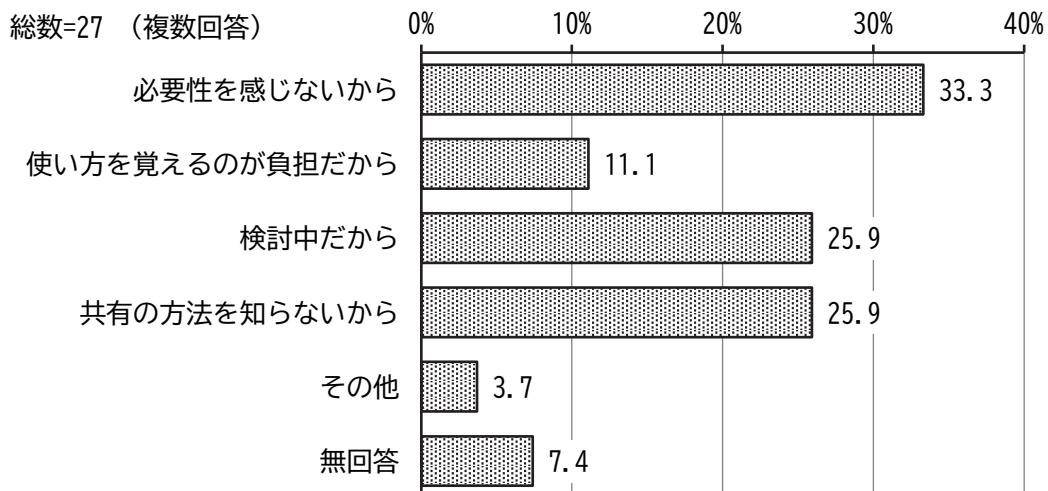
「共有している」は 41.7%、「共有していない」は 56.3%となっています。



（問 34 で「共有していない」とお答えの方）

問35 ICTを活用して患者情報等を共有していない理由は何ですか。

「必要性を感じないから」が 33.3%で最も多く、「検討中だから」（25.9%）、「共有の方法を知らないから」（25.9%）、「使い方を覚えるのが負担だから」（11.1%）が続きます。

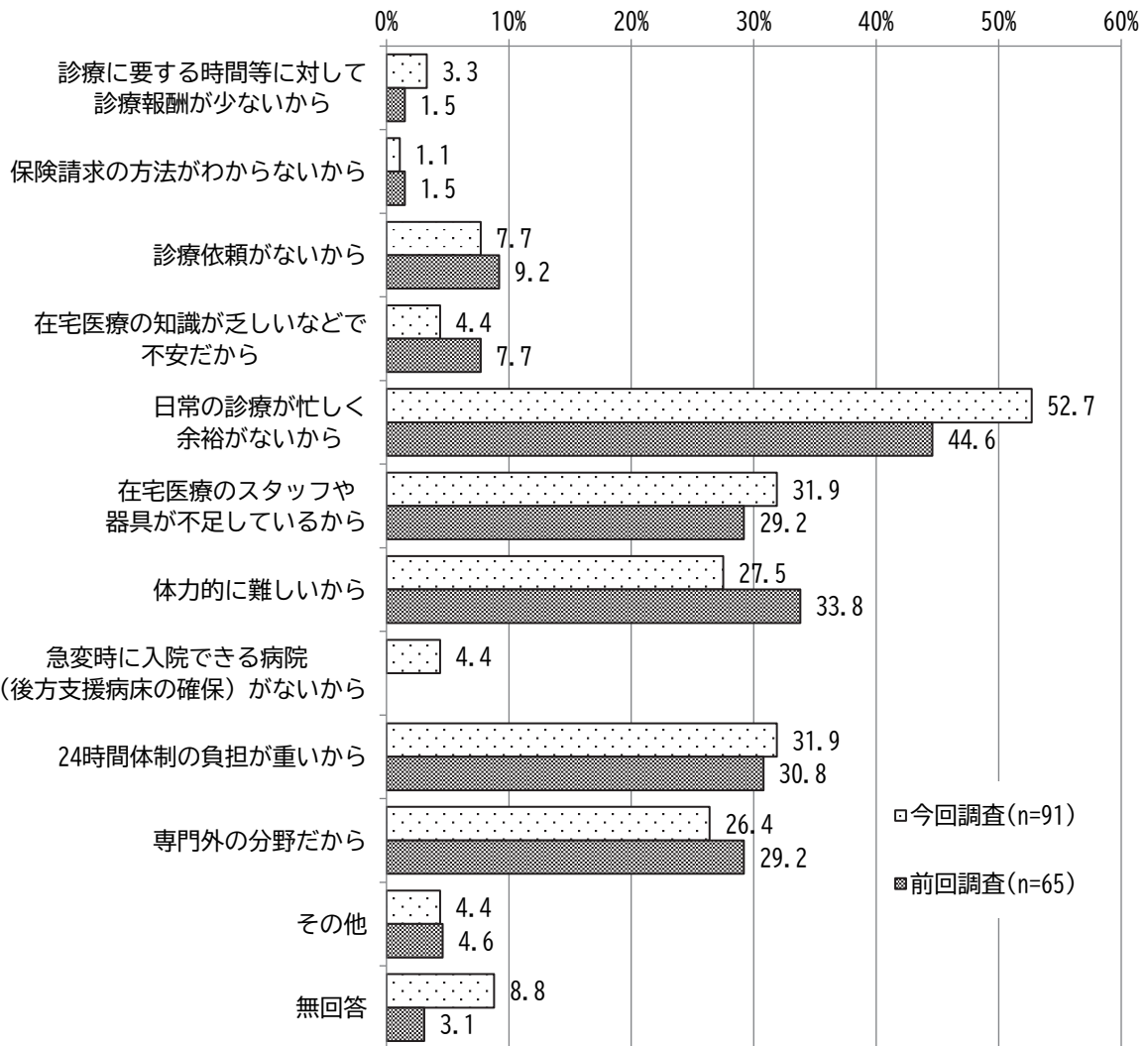


（問30で「対応していない」とお答えの方）

問36 対応していない理由は何ですか。（〇は3つまで）

「日常の診療が忙しく余裕がないから」が52.7%で最も多く、「在宅医療のスタッフや器具が不足しているから」（31.9%）、「24時間体制の負担が重いから」（31.9%）、「体力的に難しいから」（27.5%）が続きます。

前回調査と比較すると、「日常の診療が忙しく余裕がないから」が8.1ポイント増加しています。



※前回調査と選択肢の構成が一部異なります

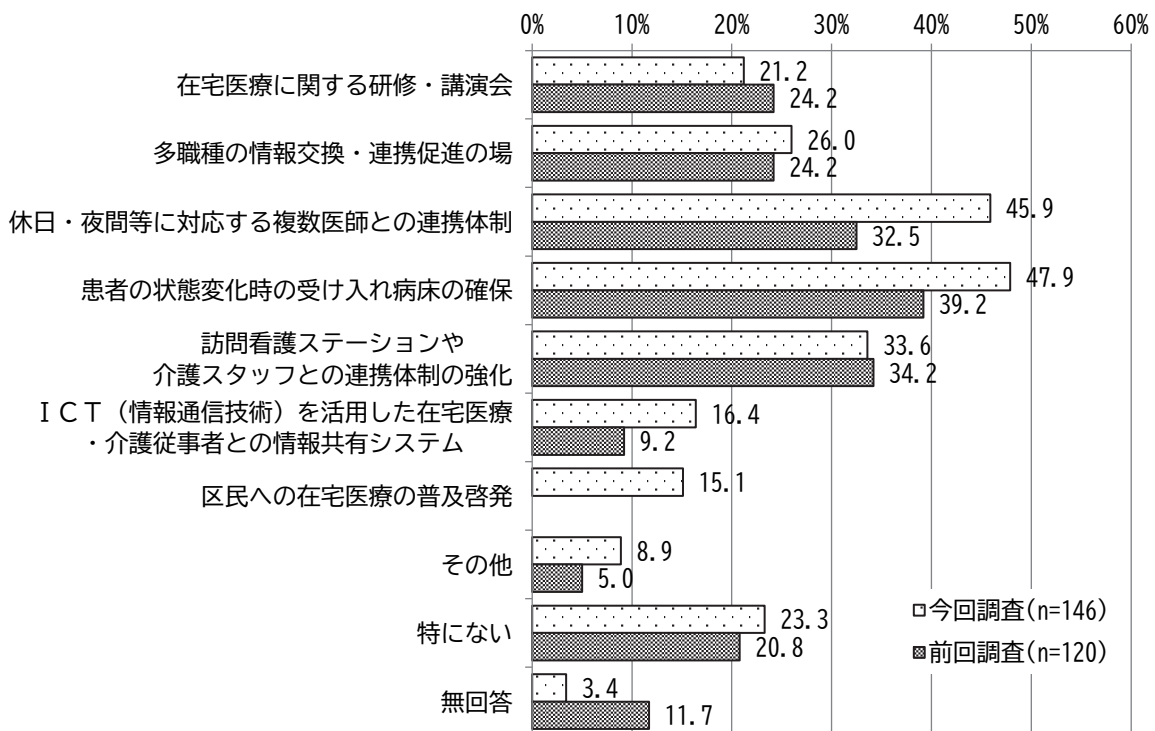
【その他の回答（抜粋）】

- ・ 外来診療に専念したいから

問37 診療所の方にお伺いします。在宅医療を実施するにあたり、必要なことは何ですか。
（複数回答）

「患者の状態変化時の受け入れ病床の確保」が47.9%で最も多く、「休日・夜間等に対応する複数医師との連携体制」(45.9%)、「訪問看護ステーションや介護スタッフとの連携体制の強化」(33.6%)、「多職種の情報交換・連携促進の場」(26.0%)が続きます。

前回調査と比較すると、「休日・夜間等に対応する複数医師との連携体制」が13.4ポイント、「患者の状態変化時の受け入れ病床の確保」が8.7ポイント増加しています。



※前回調査と選択肢の構成が一部異なります。

なお、1番目の選択肢については、前回調査では、「在宅医療に関する知識・技術向上のための研修・講演会」という表記でした。

【その他の回答（抜粋）】

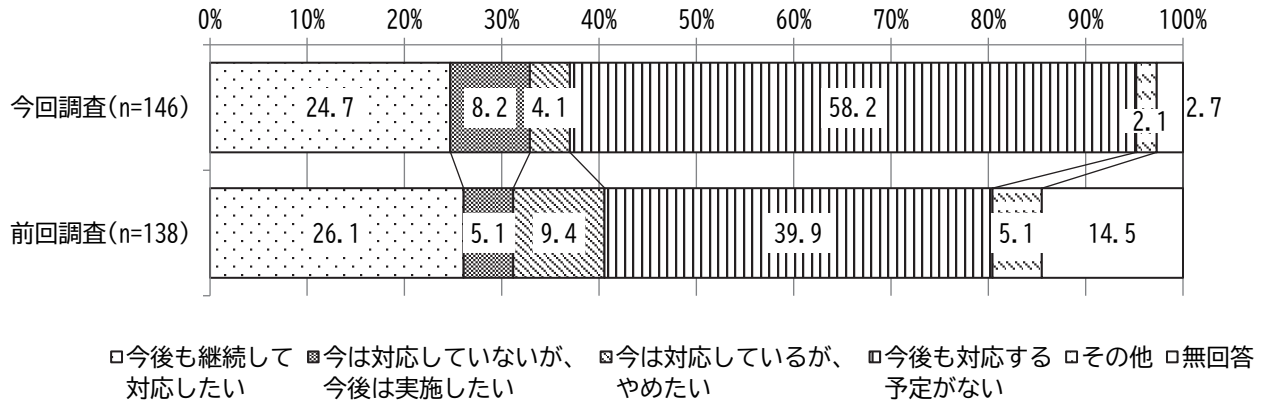
- ・ 在宅でのケア提供体制（ヘルパー）の充実化（在宅で介護できる人がいないので、入所となるケースが多い）
- ・ 体力、意欲
- ・ 保険点数の+改定
- ・ 在宅医療の裾野を拡げる（多くの医師に在宅医療に関与してもらう）。
- ・ 当院は耳鼻咽喉科なので、そのことをふまえての回答ですが、処置・検査をするには、それなりの器具・機械が必要で、それを提供してくれるところ（区あるいは医師会）があれば、自分の空き時間に在宅医療をすることは不可能ではないと思う。現実には厳しいです。

3.1 台東区医療意識調査（診療所・病院）

問38 在宅医療の今後に対する考えについて伺います。（○は1つ）

「今後も対応する予定がない」が58.2%で最も多く、「今後も継続して対応したい」（24.7%）、「今は対応していないが、今後は実施したい」（8.2%）、「今は対応しているが、やめたい」（4.1%）が続きます。

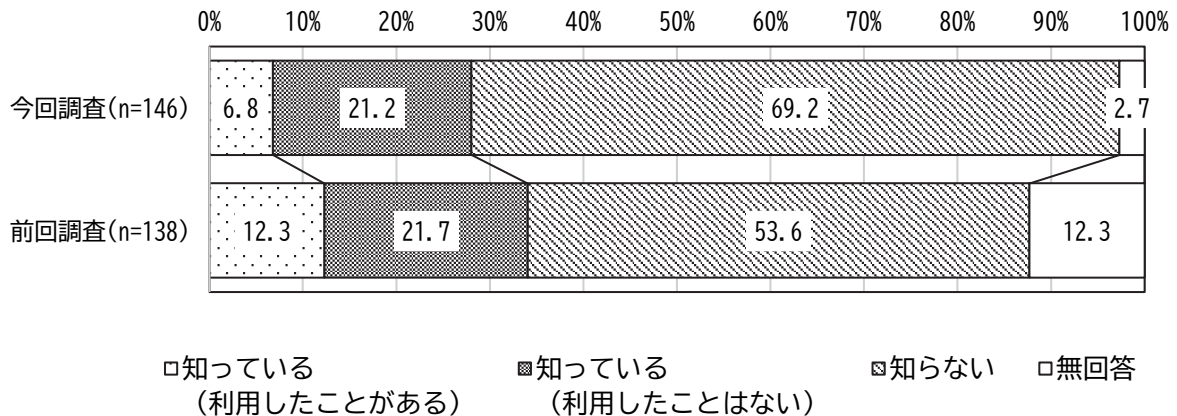
前回調査と比較すると、「今後も対応する予定がない」が18.3ポイント増加しています。



問39 台東区では、区立台東病院内に在宅療養に関する様々な相談を受ける「在宅療養支援窓口」を設置しています。そのことをご存知ですか。（○は1つ）

「知らない」が69.2%、「知っている（利用したことはない）」が21.2%、「知っている（利用したことがある）」が6.8%となっています。

前回調査と比較すると、「知らない」が15.6ポイント増加しています。



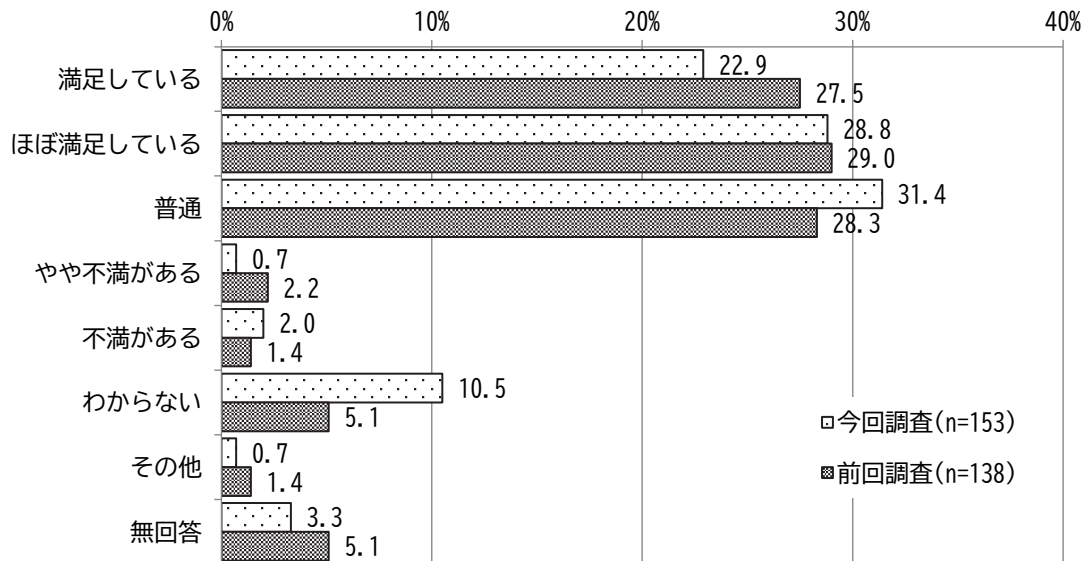
(6) 台東区の医療に関する事業について

■診療所・病院の方にお伺いします

問40 診療所・病院の方にお伺いします。台東区では、区立台東病院の運営や「台東区の身近なお医者さん」（医療マップ）の作成など、医療に関する事業を行っています。これら区の間組みをどう評価しますか。（○は1つ）

「普通」が31.4%で最も多く、「ほぼ満足している」（28.8%）、「満足している」（22.9%）、「わからない」（10.5%）が続きます。

「満足している」と「ほぼ満足している」の合計は51.7%で、前回調査（56.5%）と比較すると4.8ポイント減少しています。



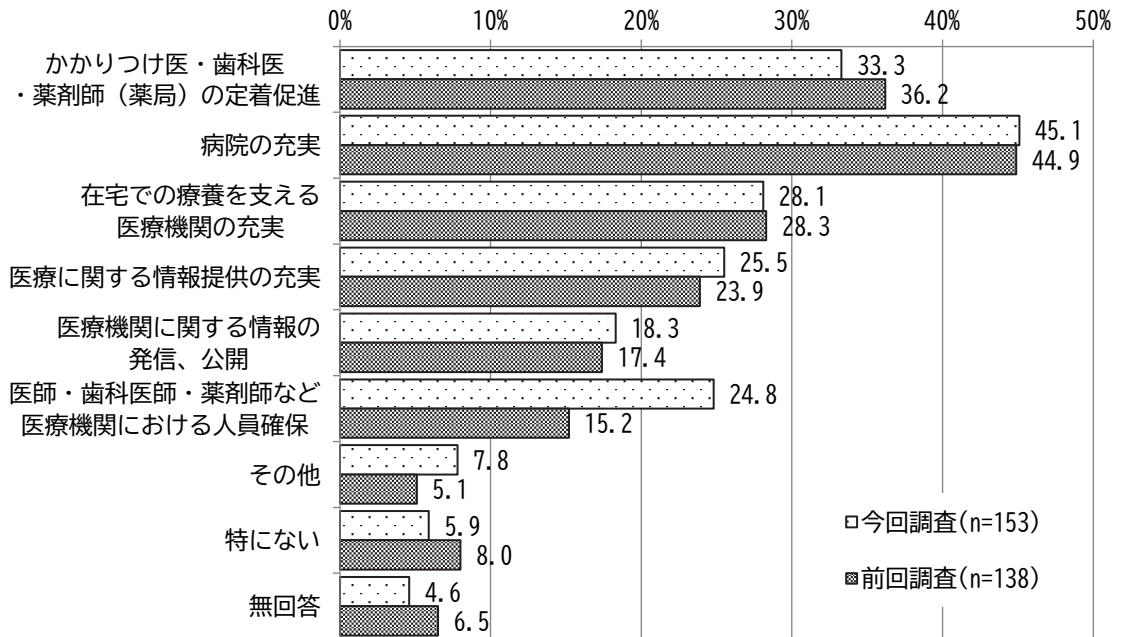
【その他の回答】

- ・ 医療マップにリハ施設を入れていない。

問4 1 診療所・病院の方にお伺いします。台東区内の医療を充実させるため何が必要だと考えますか。（〇は3つまで）

「病院の充実」が45.1%で最も多く、「かかりつけ医・歯科医・薬剤師（薬局）の定着促進」（33.3%）、「在宅での療養を支える医療機関の充実」（28.1%）、「医療に関する情報提供の充実」（25.5%）が続きます。

前回調査と比較すると、「医師・歯科医師・薬剤師など医療機関における人員確保」が9.6ポイント増加しています。



【その他の回答（抜粋）】

- ・ 外国人対応可能な病院や保健所の職員が必要
- ・ 行政の速やかな対応
- ・ 病気ではなく人（人生）を診る医師の育成
- ・ 病診連携、特に病院医師の在宅医療への理解が深まる必要がある
- ・ 医師会非加入の医療機関でも健診の補助が可能となるような区独自の施策
- ・ 救急医療を担う病院が増えること
- ・ 大学病院が必要
- ・ 医療機関同士の専門性の情報共有ができると良い。専門医がいるのに、知らずに紹介できていないことが多い。

3.1 台東区医療意識調査（診療所・病院）

（問42 診療所・病院の方にお伺いします。区に対するご要望などがあれば、下の欄へ自由にご記入ください。）

【意見】（抜粋）

- ・ 休日診療時間が長すぎます。夜 22 時までやっている必要はないです。20 時以降はほぼ来ません。翌日以降にひびきますし、スタッフの負担も大きいです。
- ・ 台東区内のデイサービス、リハビリ施設の情報公開
- ・ 中核病院、基幹病院の空床状況
- ・ 医師会に入会していない医療機関にも情報がわかるようにしていただくと助かります。
- ・ 区民へ疾患やフレイルなどに関することについて啓発していくと、理解が深まりより健康寿命の長い生活を送ることにつながると思います。
- ・ 台東区在宅支援窓口が機能していない。
- ・ 台東病院は必要だと思う。
- ・ 休日や時間外に転院や診療を依頼しても快く受けてくれる病院が台東区内にはない。休日診療当番をしても、転院先を見つけるのに 1 時間以上かかることが多く、結局は区外の病院にお願いしている。少なくとも 2 次救急当番で登録されている病院は担当の日ぐらいは依頼のあった患者さんを受入れるべきであると考えている。受入れた患者数と断った患者数および理由を公表するぐらいのことはしてほしい。断っても許される現状と断っても待機料が発生している現状は明らかに問題である。
- ・ 他区に比べて取り組みが乏しいため、他区の医療機関と連携することが多くなっている。台東区でも積極的な取り組みを期待したい。
- ・ 台東区には大学病院がないため、区立台東病院の診療領域と病床数の拡大を希望します。台東区には透析患者も多いため、血液浄化療法科の新設によって透析患者の入院が可能になる事を望みます。
- ・ 台東病院以外に区立の救急病院が必要とされています。昔の下谷病院のような病院です。文京区には、駒込病院があります。墨田区には、墨東病院があります。永寿総合病院のみでは、荷が重すぎると思います。

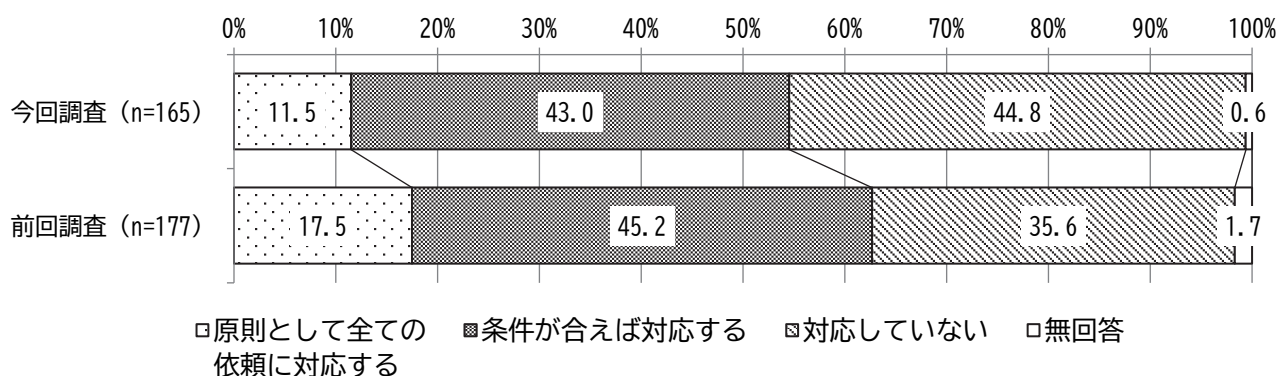
3.2 台東区医療意識調査（歯科診療所）

(1) 在宅歯科診療について

問1 在宅歯科診療の依頼があったとき、どのように対応していますか。（○は1つ）

「対応していない」が44.8%、「条件が合えば対応する」が43.0%、「原則として全ての依頼に対応する」が11.5%となっています。

前回調査と比較すると「対応していない」が9.2ポイント増加しています。

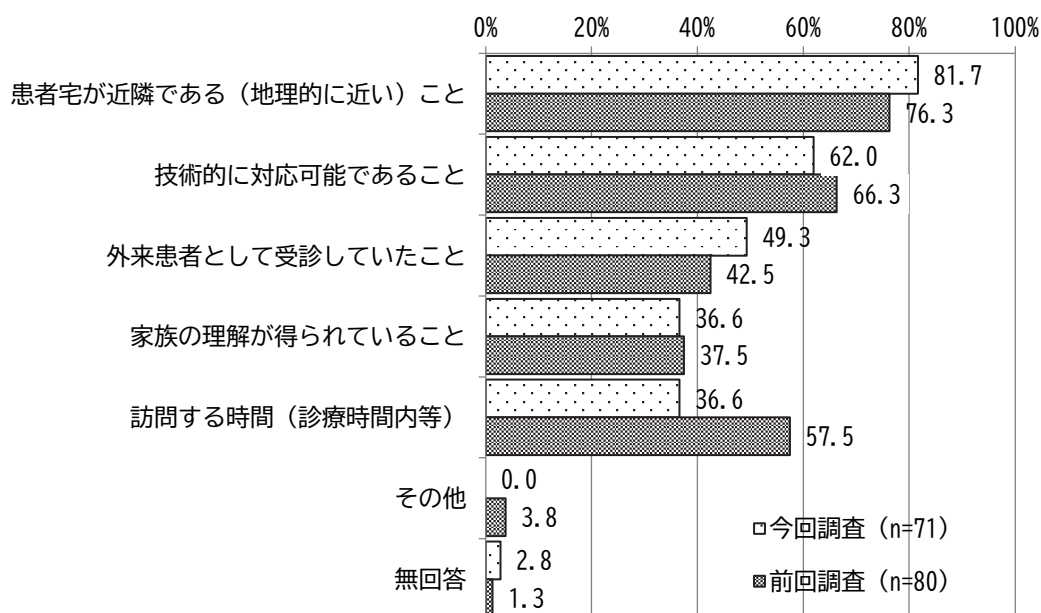


(問1で「条件が合えば対応する」とお答えの方)

問2 その条件で重視するものをお選びください。（○は3つまで）

「患者宅が近隣である（地理的に近い）こと」が81.7%で最も多く、「技術的に対応可能であること」(62.0%)、「外来患者として受診していたこと」(49.3%)、「家族の理解が得られていること」(36.6%)、「訪問する時間（診療時間内等）」(36.6%)が続きます。

前回調査と比較すると、「外来患者として受診していたこと」が6.8ポイント増加し、「訪問する時間（診療時間内等）」が10.9ポイント減少しています。

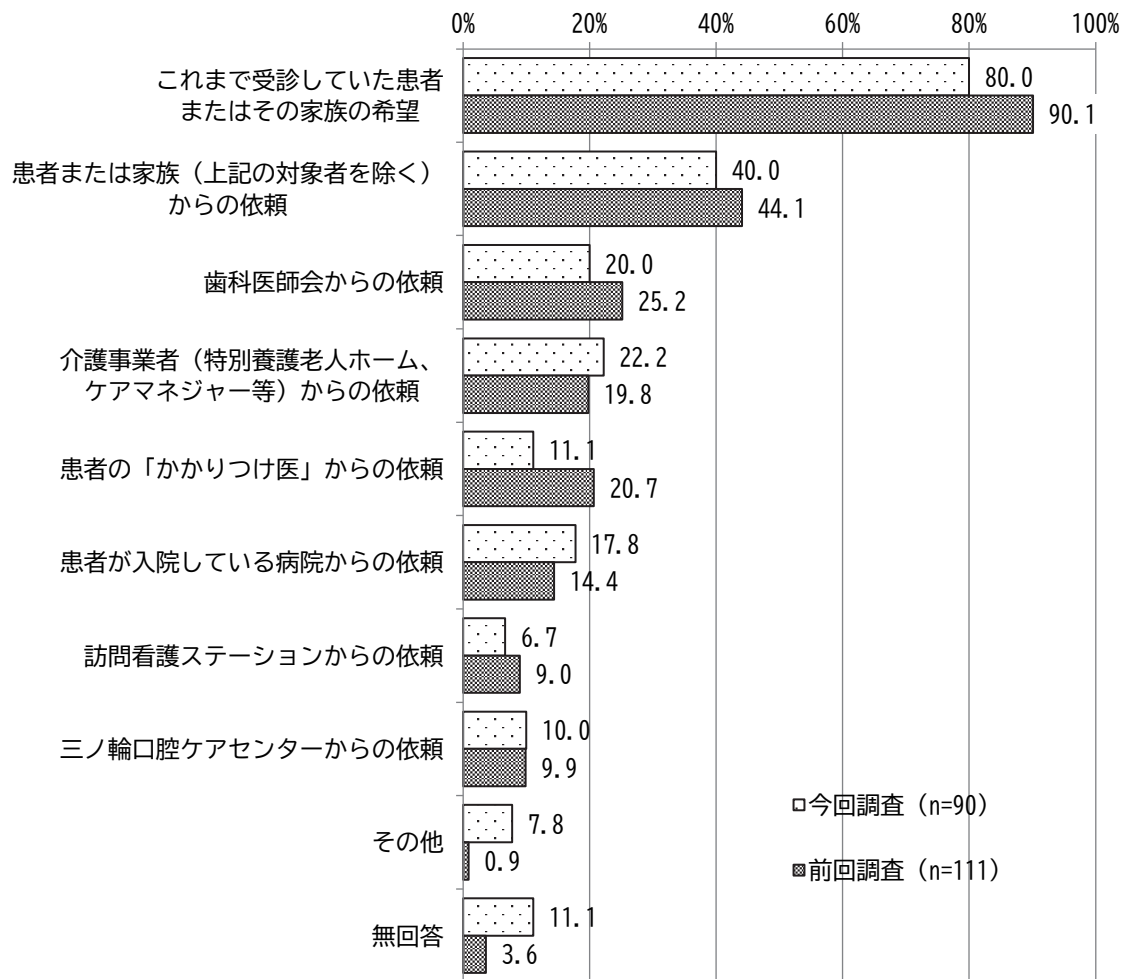


（問1で「原則として全ての依頼に対応する」か「条件が合えば対応する」とお答えの方）

問3 在宅歯科診療の依頼はどこからありますか。（○はいくつでも）

「これまで受診していた患者またはその家族の希望」が80.0%で最も多く、「患者または家族（上記の対象者を除く）からの依頼」（40.0%）、「介護事業者（特別養護老人ホーム、ケアマネジャー等）からの依頼」（22.2%）、「歯科医師会からの依頼」（20.0%）が続きます。

前回調査と比較すると、「これまで受診していた患者またはその家族の希望」が10.1ポイント減少しています。



【その他の回答（抜粋）】

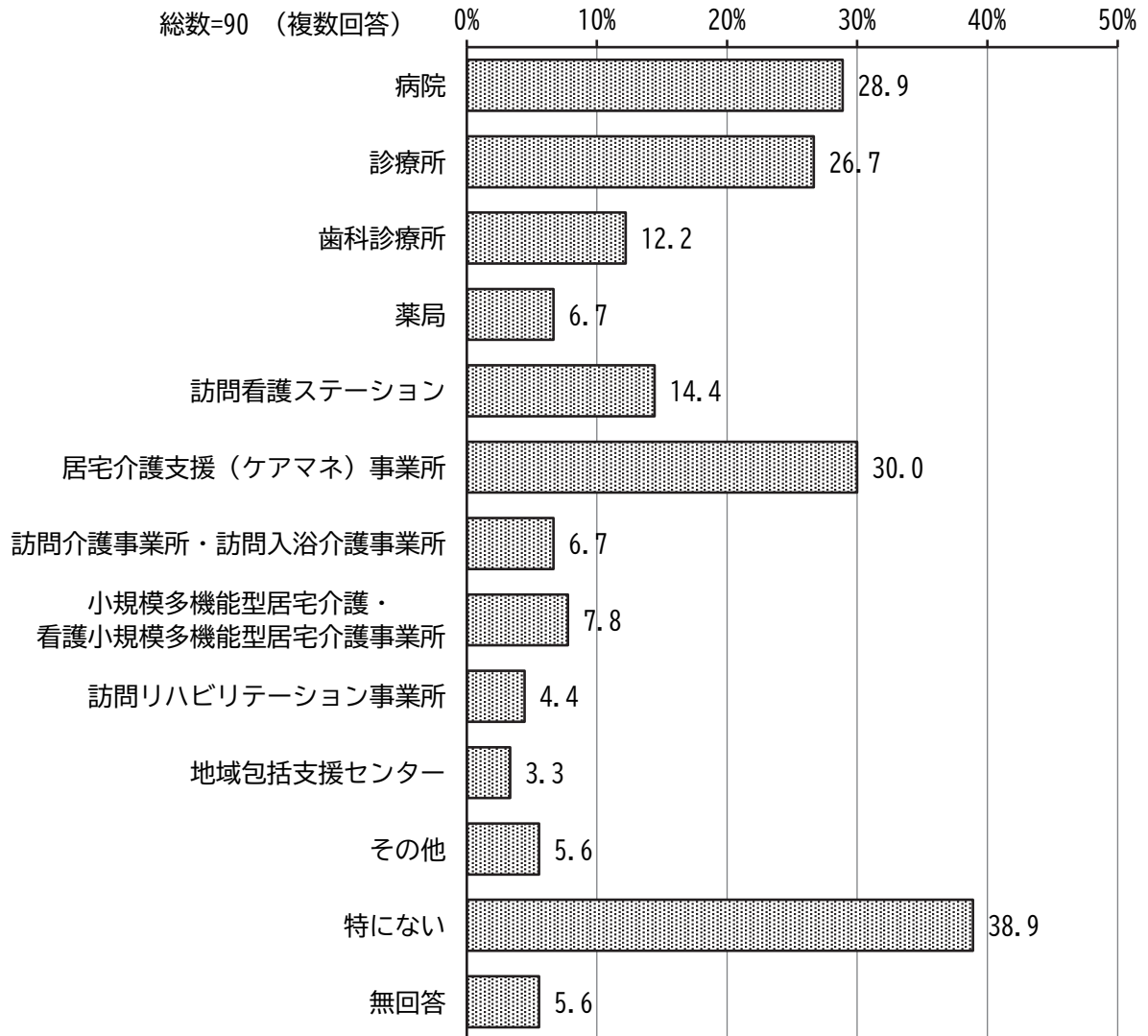
- ・ 今のところ依頼がない。

3.2 台東区医療意識調査（歯科診療所）

（問1で「原則として全ての依頼に対応する」か「条件が合えば対応する」とお答えの方）

問4 在宅歯科診療を行う上で、どのような医療機関や介護サービス事業所と連携を図っていますか。（〇はいくつでも）

「特にない」が 38.9%で最も多く、「居宅介護支援（ケアマネ）事業所」（30.0%）、「病院」（28.9%）、「診療所」（26.7%）が続きます。



【その他の回答（抜粋）】

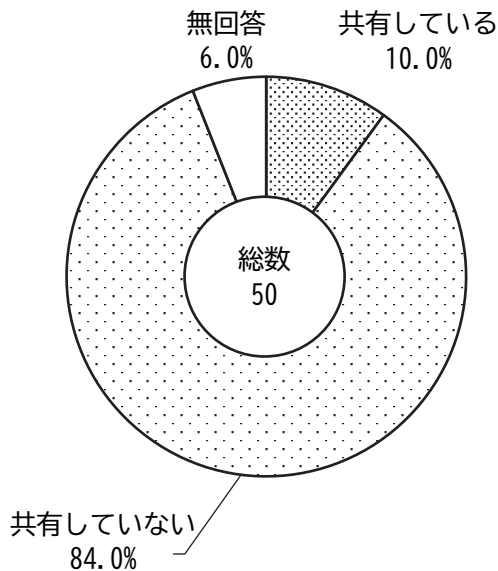
- ・ グループホーム
- ・ 三ノ輪口腔ケアセンター
- ・ 歯科医師会
- ・ まだ行ったことがありません。

（問4で連携している医療機関や介護サービス事業所があるとお答えの方）

問5 ICTを活用して多機関の多職種と患者情報等を共有（※）していますか。

※タブレット端末やパソコンを用いて、在宅療養中の患者を支える多職種連携システム（MCS、TRITRUS、バイタルリンク等）を活用すること。

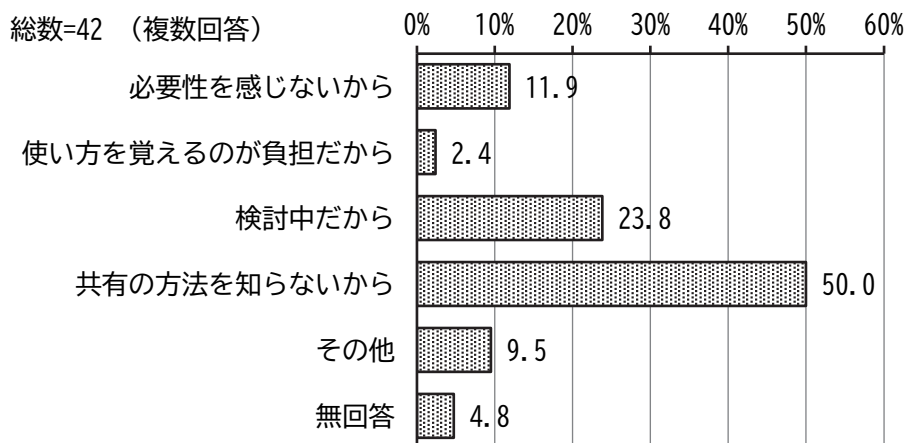
「共有していない」は84.0%、「共有している」は10.0%となっています。



（問5で「共有していない」とお答えの方）

問6 ICTを活用して患者情報等を共有していない理由は何ですか。

「共有の方法を知らないから」が50.0%で最も多く、「検討中だから」（23.8%）、「必要性を感じないから」（11.9%）が続きます。



【その他の回答（抜粋）】

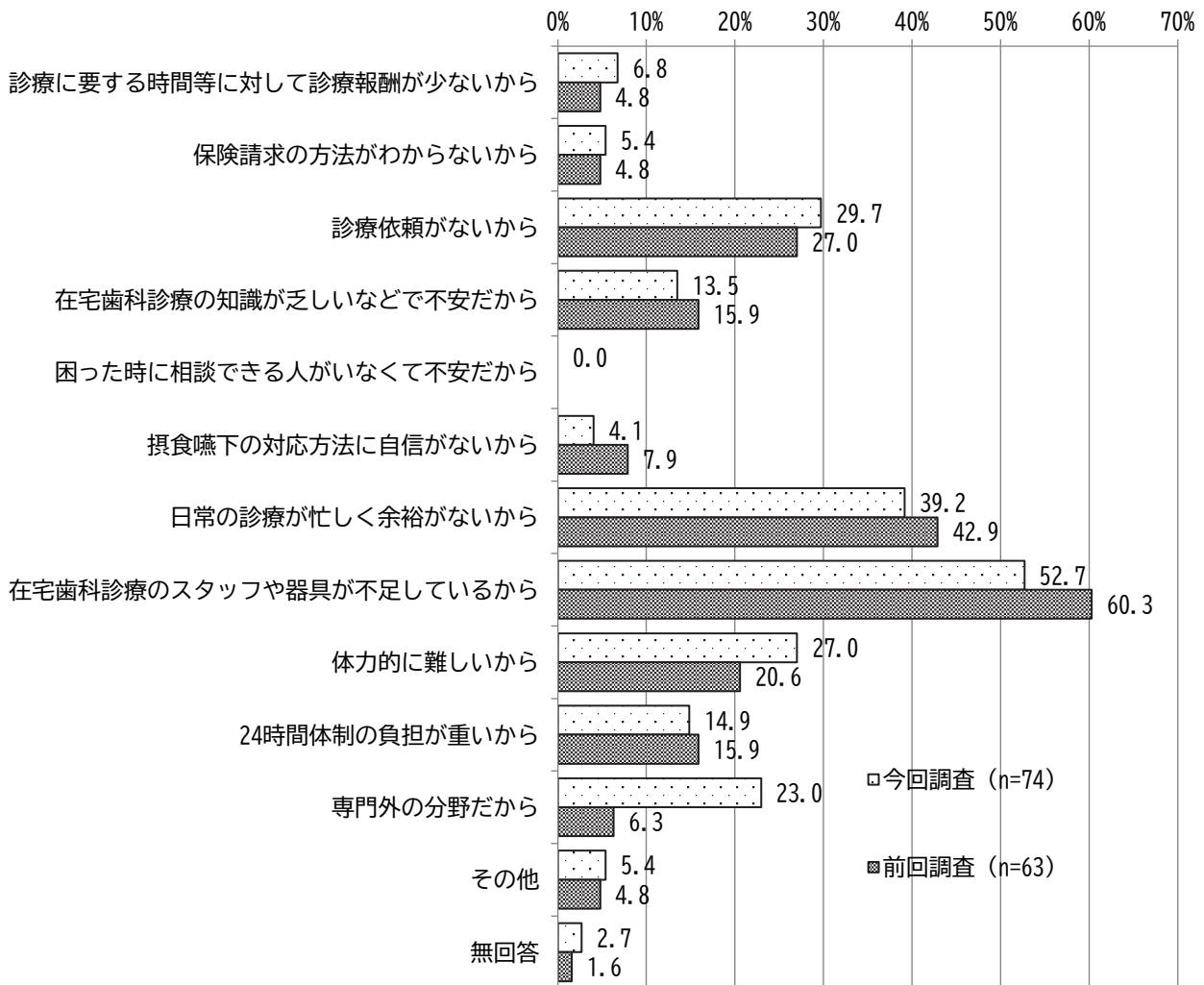
- ・ ICTについて詳しく知らない。
- ・ 相手方がICTに入っているかどうか分からない。

（問1で「対応していない」とお答えの方）

問7 対応していない理由は何ですか。（〇は3つまで）

「在宅歯科診療のスタッフや器具が不足しているから」が52.7%で最も多く、「日常の診療が忙しく余裕がないから」（39.2%）、「診療依頼がないから」（29.7%）、「体力的に難しいから」（27.0%）が続きます。

前回調査と比較すると、「在宅歯科診療のスタッフや器具が不足しているから」が7.6ポイント減少し、「専門外の分野だから」が16.7ポイント増加しています。



※前回調査と選択肢の構成が一部異なります

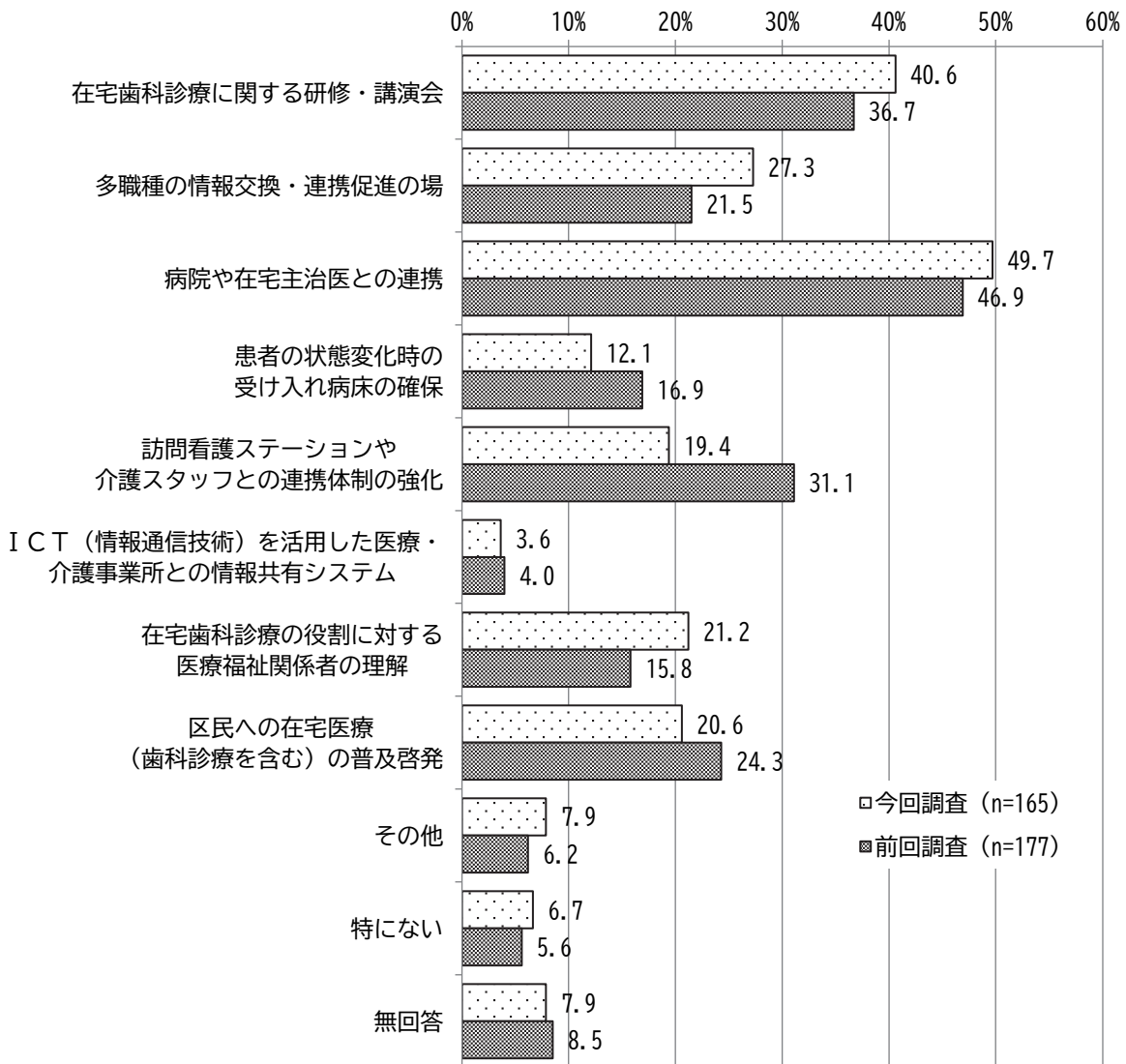
【その他の回答（抜粋）】

- ・ 患者側の理解、協力が得られない。
- ・ 必要な機材を用意するのにお金がかかる。在宅は大手の法人等がやっているので小規模の医院ではやりにくい。

問8 在宅歯科診療を実施するにあたり、必要なことは何ですか。（〇は3つまで）

「病院や在宅主治医との連携」が49.7%で最も多く、「在宅歯科診療に関する研修・講演会」（40.6%）、「多職種の情報交換・連携促進の場」（27.3%）、「在宅歯科診療の役割に対する医療福祉関係者の理解」（21.2%）が続きます。

前回調査と比較すると、「訪問看護ステーションや介護スタッフとの連携体制の強化」が11.7ポイント減少し、「多職種の情報交換・連携促進の場」が5.8ポイント、「在宅歯科診療の役割に対する医療福祉関係者の理解」が5.4ポイント、それぞれ増加しています。



※1番目の選択肢については、前回調査では、「在宅歯科診療に関する知識・技術向上のための研修・講演会」という表記でした。

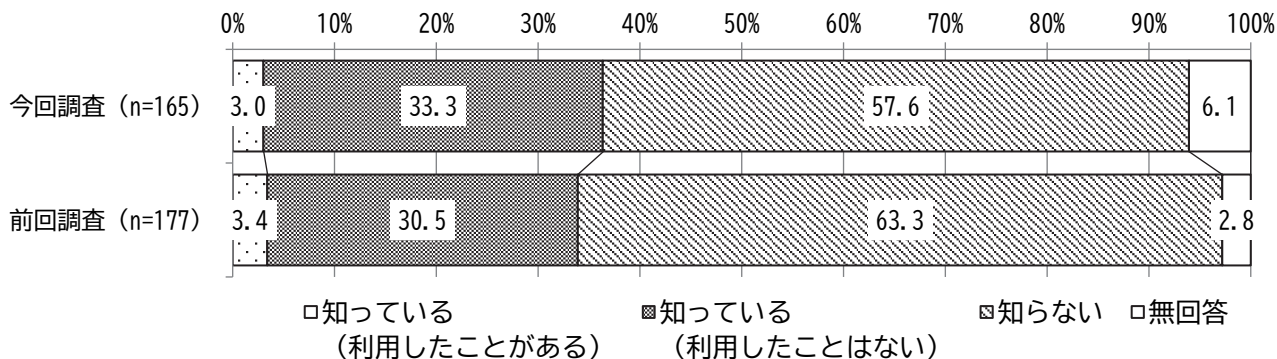
【その他の回答（抜粋）】

- ・ 保険請求の簡略化
- ・ 在宅診療に必要な機材などの補助
- ・ 現実的には人的、費用、設備的に一般歯科医院では困難です。歯科医師会等、団体の主導で行うべきです。
- ・ 自院の運営で手いっぱい在宅診療をやっていくことができない。

問9 台東区では、在宅療養に関する様々な相談を受ける「在宅療養支援窓口」を、区立台東病院内に設置しています。そのことをご存知ですか。（○は1つ）

「知らない」が57.6%、「知っている（利用したことはない）」が33.3%、「知っている（利用したことがある）」が3.0%となっています。

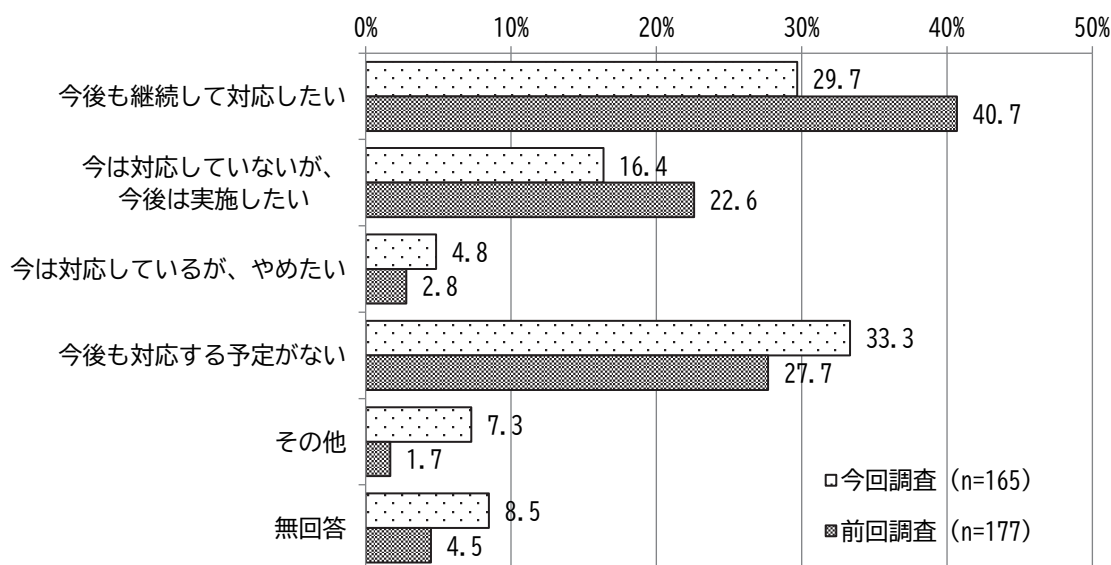
前回調査と比較すると、「知らない」が5.7ポイント減少しています。



問10 在宅歯科診療の今後に対する考えについて伺います。（○は1つ）

「今後も対応する予定がない」が33.3%で最も多く、「今後も継続して対応したい」（29.7%）、「今は対応していないが、今後は実施したい」（16.4%）が続きます。

前回調査と比較すると、「今後も継続して対応したい」が11.0ポイント減少しています。



【その他の回答（抜粋）】

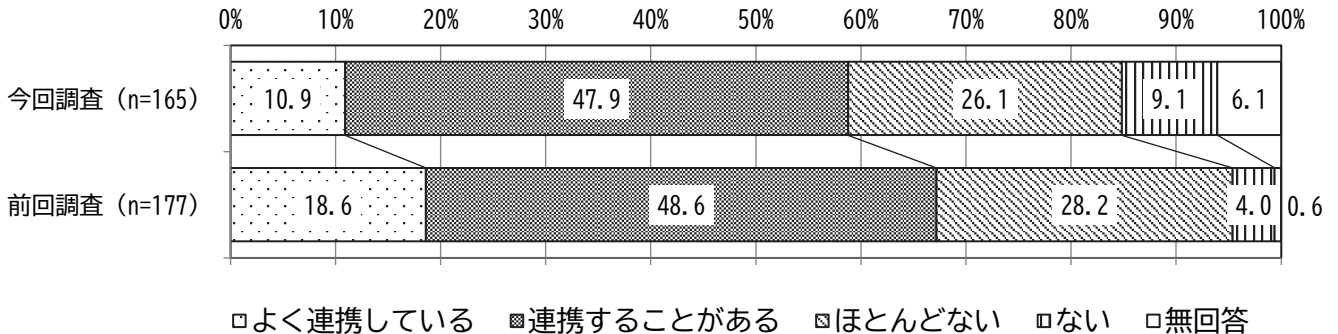
- ・ 患者様は高齢化していくので対応したいが、体制を作れません。
- ・ ケースバイケースで対応したい。
- ・ 通院中の患者さんが在宅になり、診療希望があったときに検討したい。
- ・ 以前やっていたが、限られた環境で、患者の満足度も低く、やめた。
- ・ 区からの補助があれば実施したい。

(2) かかりつけ医などとの連携について

問1 1 患者の「かかりつけ医」と連携をすることがありますか。（○は1つ）

「連携することがある」が 47.9%、「ほとんどない」が 26.1%、「よく連携している」が 10.9%、「ない」が 9.1%となっています。

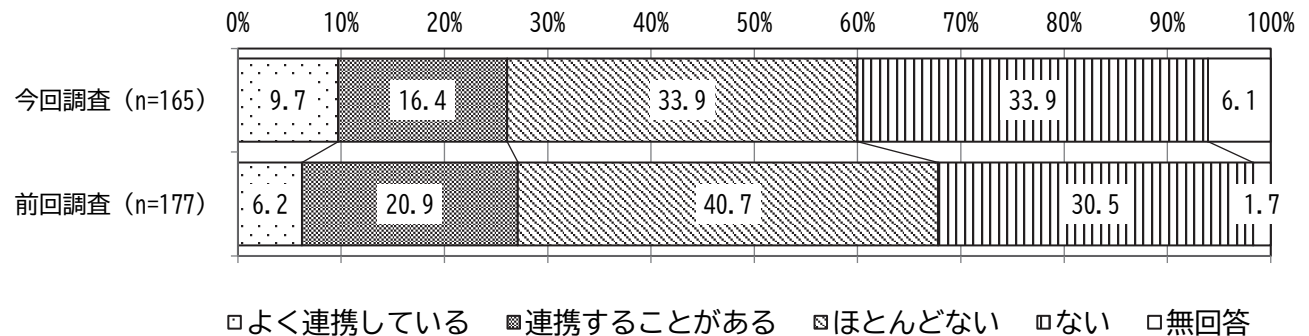
前回調査と比較すると、「よく連携している」が 7.7ポイント減少しています。



問1 2 要介護高齢者などの患者の場合、ケアマネジャーや入所施設相談員などと連携を行っていますか。（○は1つ）

「ほとんどない」が 33.9%、「ない」が 33.9%、「連携することがある」が 16.4%、「よく連携している」が 9.7%となっています。

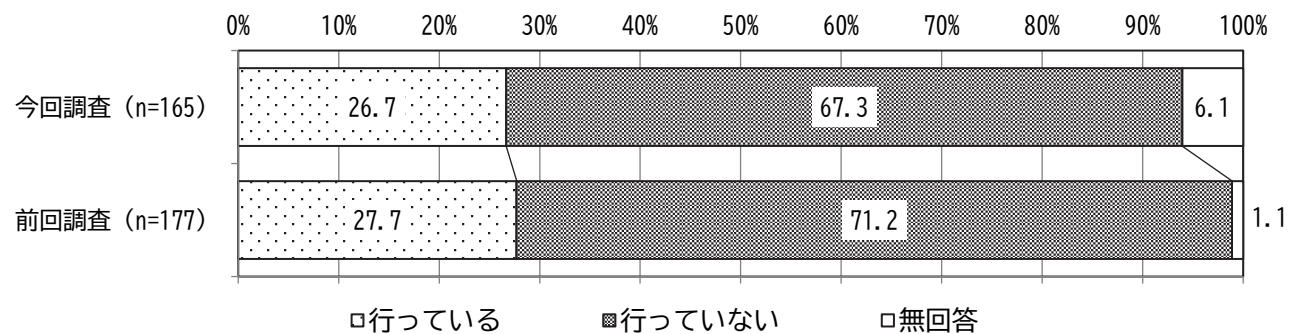
前回調査と比較すると、「ほとんどない」が 6.8ポイント減少しています。



問1 3 摂食嚥下や嚥下障害に関する治療や指導を行っていますか。（○は1つ）

「行っていない」は 67.3%、「行っている」は 26.7%となっています。

前回調査と概ね同様の傾向となっています。

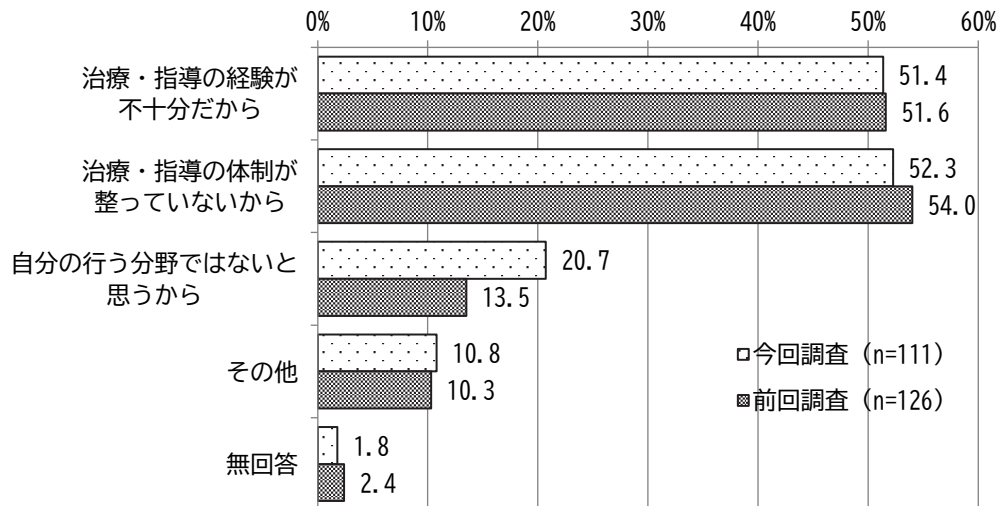


（問13で「行っていない」とお答えの方）

問14 治療や指導を行わない理由は何ですか。（〇はいくつでも）

「治療・指導の体制が整っていないから」が52.3%で最も多く、「治療・指導の経験が不十分だから」（51.4%）、「自分の行う分野ではないと思うから」（20.7%）が続きます。

前回調査と比較すると、「自分の行う分野ではないと思うから」が7.2ポイント増加しています。



【その他の回答（抜粋）】

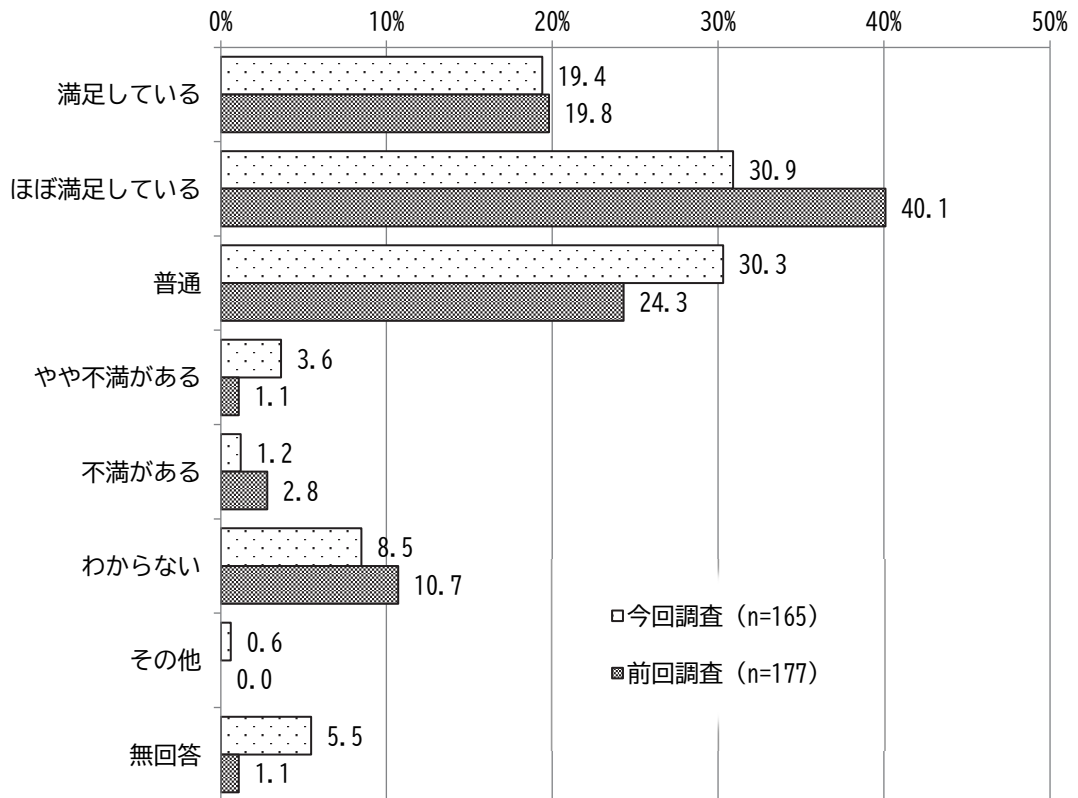
- ・ 該当する患者がない。
- ・ 患者さん側の努力やリハビリの部分が大きく、せっかく指導しても退院出来ていない。
- ・ 今後行っていく予定。

(3) 台東区の医療に関する事業について

問15 台東区では、区立台東病院の運営や「台東区の身近なお医者さん」（医療マップ）の作成など、医療に関する事業を行っています。これら区の実施をどう評価しますか。（○は1つ）

「ほぼ満足している」が30.9%で最も多く、「普通」（30.3%）、「満足している」（19.4%）「わからない」（8.5%）が続きます。

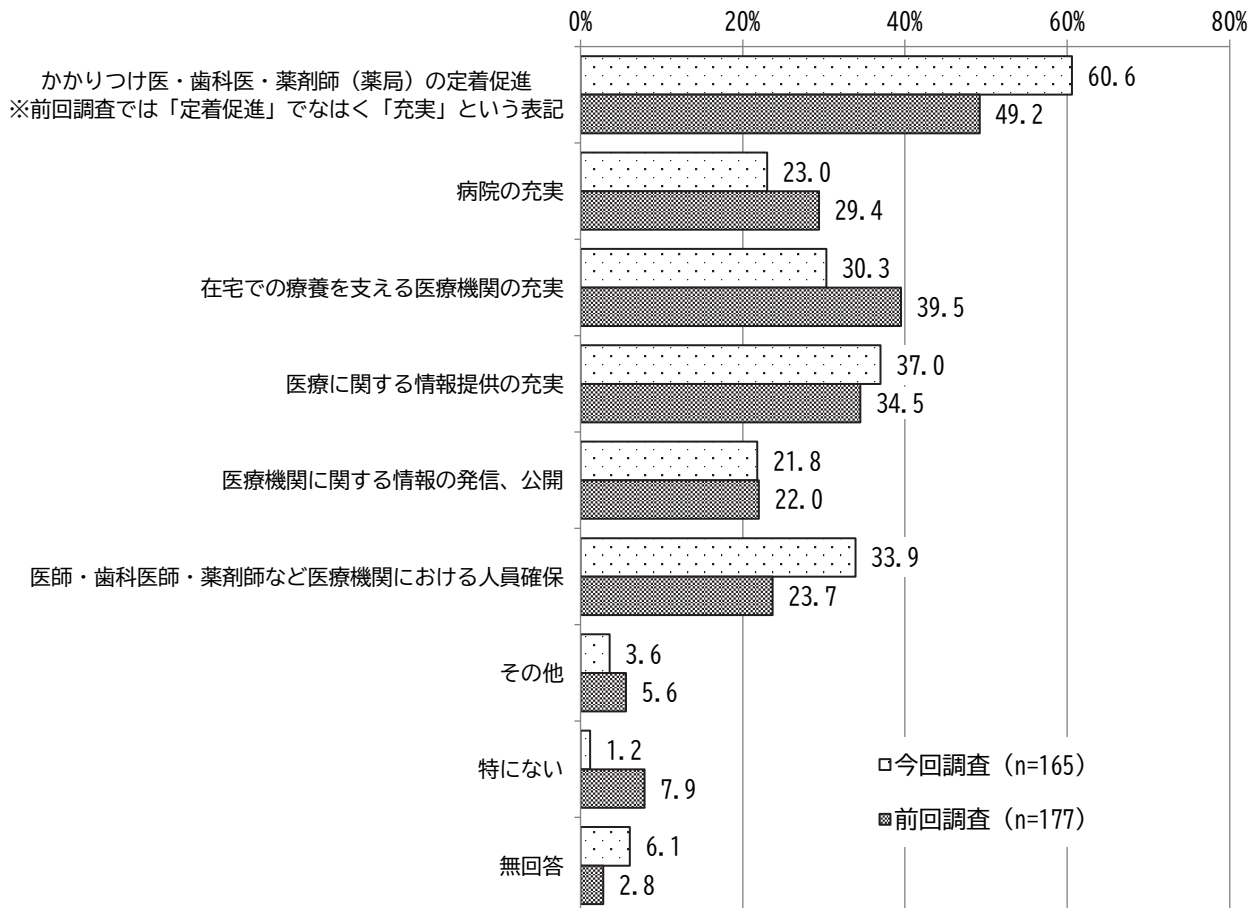
前回調査と比較すると、「ほぼ満足している」が9.2ポイント減少しています。



問16 台東区内の医療を充実させるため何が必要だと考えますか。（〇は3つまで）

「かかりつけ医・歯科医・薬剤師（薬局）の定着促進」が60.6%で最も多く、「医療に関する情報提供の充実」（37.0%）、「医師・歯科医師・薬剤師など医療機関における人員確保」（33.9%）、「在宅での療養を支える医療機関の充実」（30.3%）が続きます。

前回調査と比較すると、「かかりつけ医・歯科医・薬剤師（薬局）の定着促進」が11.4ポイント、「医師・歯科医師・薬剤師など医療機関における人員確保」が10.2ポイント増加しています。



【その他の回答（抜粋）】

- ・ 区健診の費用の底上げ（費用が安すぎる）。医療機関同士の連携を図るための現状を共有する場（FAX や手紙、TEL などでは相手の顔が見えず、連携している実感がわからない）
- ・ 在宅診療に関わることができる医師、歯科医師及びオペレーションスタッフ（看護師、歯科衛生士 etc）の教育と人員の確保、充実、現場への参加
- ・ 多職種での連携の強化と在宅療養者の口腔管理の重要性の啓発
- ・ 医療を受ける側が、病気にならないような生活習慣や定期的な健診でかなり防げらると思う。自分のことは自分で守る。
- ・ 台東区内に口腔外科のある大きな病院がありません。是非、設置よろしくをお願いします。

問17 区に対するご要望などがあれば、下の欄へ自由にご記入ください。

【意見】（抜粋）

- ・ 一般区民の方々が「台東区の身近なお医者さん」を活用していないように感じています。もっと周知していただけるよう工夫してください。
- ・ 現実問題として先生 1 人が診療している医院は往診できる時間的、資金的な問題で断念せざるを得ないのではないのでしょうか。また医院とは異なり歯科往診は患者の体調により気軽にキャンセルされる存在のためビジネスとして成立しません。往診専門の医院に 10 年ほど関与してきましたが、キャンセルの問題は非常に難しい問題で、歯科往診を困難にしていると思います。
- ・ 自分の健康についてはある程度自己責任ということを区民に伝えるべきだと思う。他人任せを受け入れられるほどこれからの若い世代は余裕がない。
- ・ 台東区には三ノ輪口腔ケアセンターがあり、とても良いと思う。在宅では抜歯などの外科処置はリスクが高いため、三ノ輪や台東病院などの施設で処置が出来るようにしてほしい。そのためにはデイサービスのように車の送迎をしてほしい。在宅では水を使うクリーニングをして、プラークの除去をしたいが、誤嚥されるのも困るので、施設でのクリーニングも積極的に受け入れてほしい。在宅での歯科診療に限界があることをわかってほしい。
- ・ ドクターもスタッフも、在宅診療を今よりもっとやっても良いと思っていますが、どういう場に出て誰と繋がれば良いのか、良く分かりません。
- ・ 訪問歯科診療の経験が無く、今まで通院していた患者様が寝たきりになり、ご家族から訪問診療を委託された場合、心情としては訪問してあげたいのですが、訪問診療にあたり具体的に何をしたら良いのか、また施設基準等や申請の手続きをしなければならないのか、保険診療で何が必要なのか、また必要な機材等の確保は出来るのか、色々な疑問が多く出てきます。また、先の設問であった「在宅療養支援窓口」とは先生が窓口で相談するのか、患者様のご家族が相談するのか等の具体的な利用方法に関する事がアナウンス不足のため、こちらのドクターサイドも患者様サイドもよく分からない現状。「在宅療養支援窓口の利用方法」などの情報冊子等、具体例やどんな時に利用出来るのかをお知らせして頂きたい。今までもリーフレット等で時々見かける事があってもその時に必要でなければ見逃してしまい、いざ必要になった時には具体的な事がよく分からないと言った現状をお考え頂けると助かります。

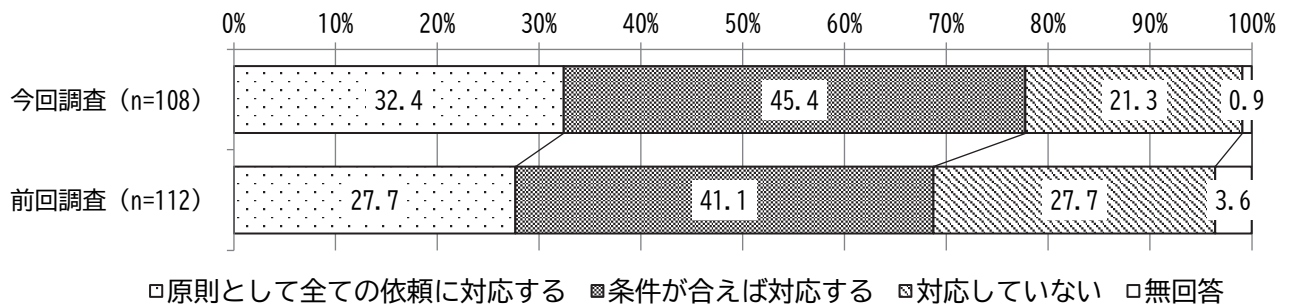
3.3 台東区医療意識調査（薬局）

(1) 在宅患者訪問薬剤管理指導及び居宅療養管理指導について

問1 在宅患者訪問薬剤管理指導・居宅療養管理指導の依頼があったとき、どのように対応していますか。（○は1つ）

「原則として全ての依頼に対応する」が32.4%、「条件が合えば対応する」が45.4%、「対応していない」が21.3%となっています。

前回調査と比較すると、「対応していない」が6.4ポイント減少し、「原則として全ての依頼に対応する」が4.7ポイント増加しています。

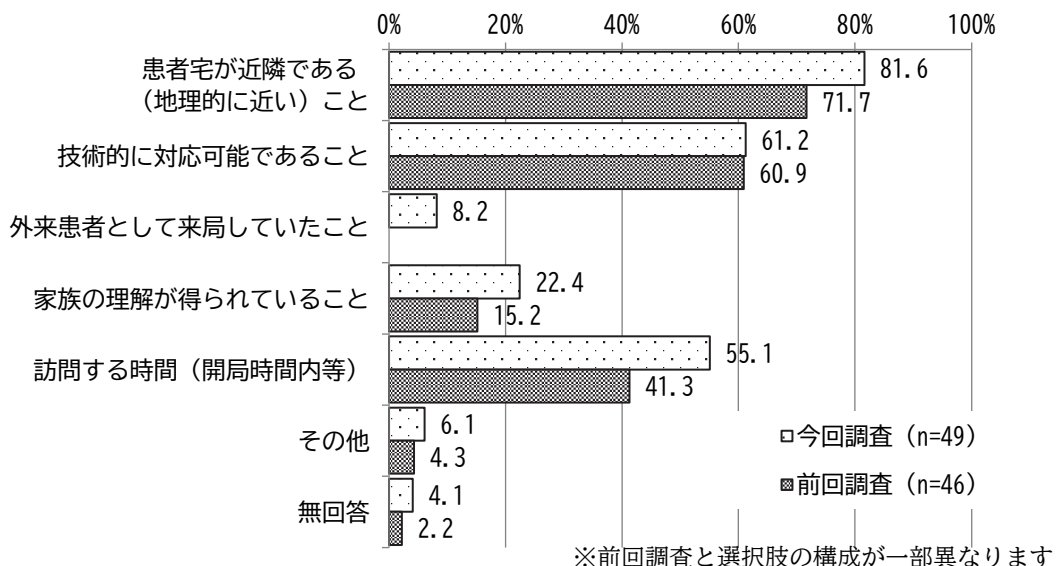


(問1で「条件が合えば対応する」とお答えの方)

問2 その条件で重視するものをお選びください。（○は3つまで）

「患者宅が近隣である（地理的に近い）こと」が81.6%で最も多く、「技術的に対応可能であること」(61.2%)、「訪問する時間（開局時間内等）」(55.1%)が続きます。

なお、前回調査については、選択肢から選べるのは2つまでであったため、単純比較ができませんが、ご参考までに掲載いたします。



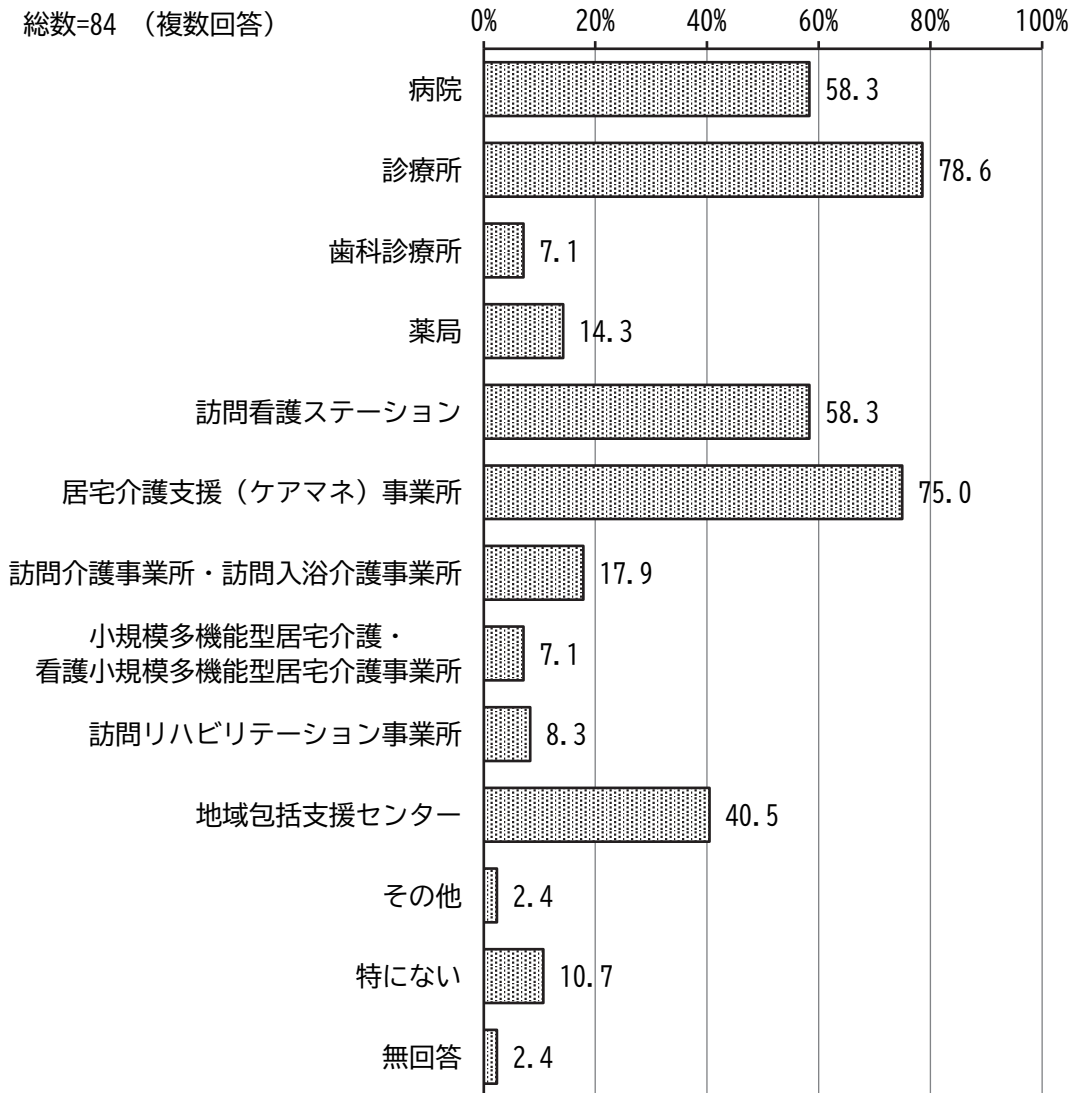
【その他の回答（抜粋）】

- ・ 無菌製剤調整が必要な場合は紹介となるため
- ・ 在宅対応できる薬剤師が一人のため、人数に限りがあるので、その時の人数次第ということがあります。

（問1で「原則として全ての依頼に対応する」か「条件が合えば対応する」とお答えの方）

問3 在宅患者訪問薬剤管理指導・居宅療養管理指導を行う上で、どのような医療機関や介護サービス事業所と連携を図っていますか。（○はいくつでも）

「診療所」が78.6%で最も多く、「居宅介護支援（ケアマネ）事業所」（75.0%）、「病院」（58.3%）、「訪問看護ステーション」（58.3%）が続きます。



【その他の回答（抜粋）】

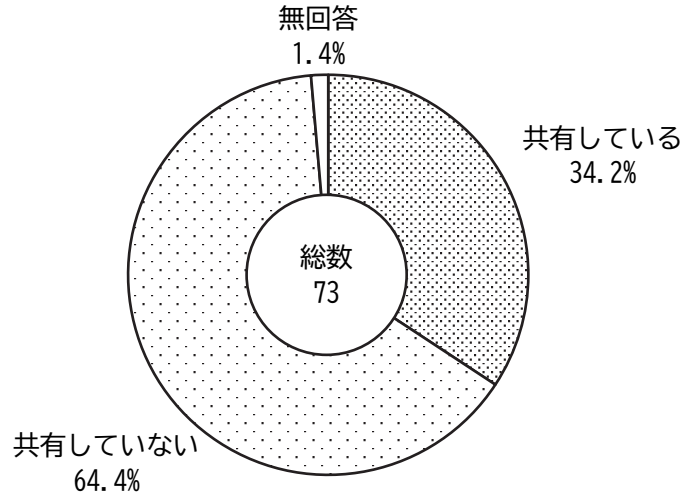
- ・ 生活保護課、デイサービス

（問3で連携している医療機関や介護サービス事業所があるとお答えの方）

問4 ICTを活用して多機関の多職種と患者情報等を共有(※)していますか。

※タブレット端末やパソコンを用いて、在宅療養中の患者を支える多職種連携システム（MCS、TRITRUS、バイタルリンク等）を活用すること。

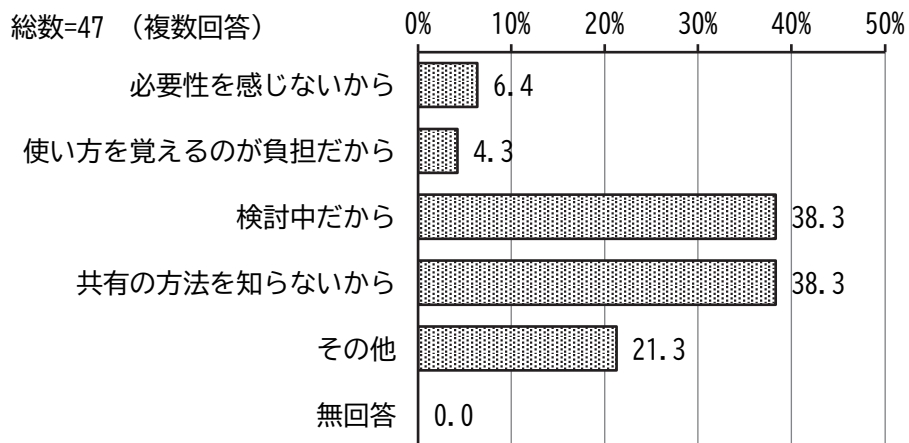
「共有している」は34.2%、「共有していない」は64.4%となっています。



（問4で「共有していない」とお答えの方）

問5 ICTを活用して患者情報等を共有していない理由は何ですか。

「検討中だから」と「共有の方法を知らないから」が38.3%で多く、「必要性を感じないから」（6.4%）が続きます。



【その他の回答（抜粋）】

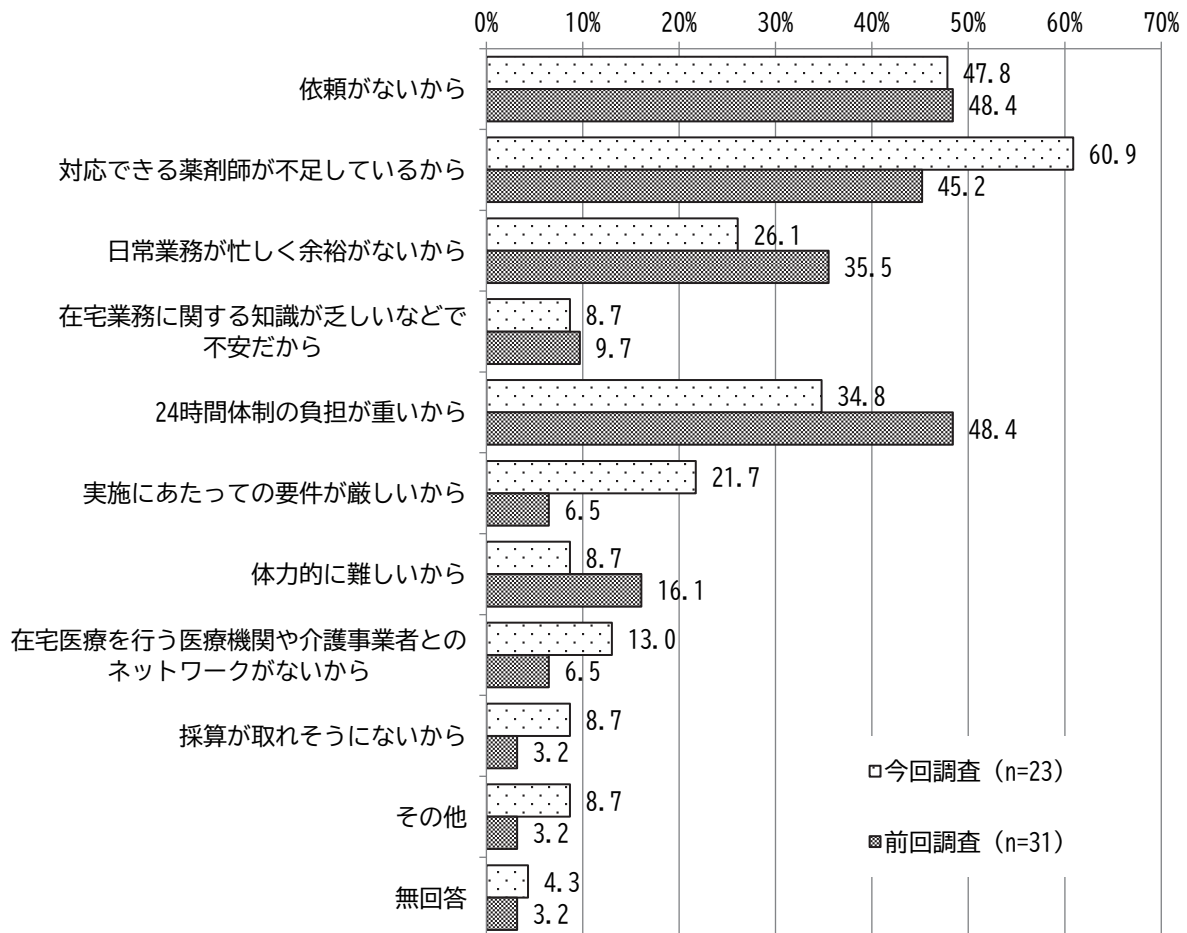
- ・ 今まで必要とされる場面に遭遇しなかった。
- ・ 連携している医療機関が利用していない。
- ・ 居宅患者がいない。
- ・ 準備はできているが依頼がない。

（問1で「対応していない」とお答えの方）

問6 対応していない主な理由は何ですか。（〇は3つまで）

「対応できる薬剤師が不足しているから」が60.9%で最も多く、「依頼がないから」（47.8%）、「24時間体制の負担が重いから」（34.8%）、「日常業務が忙しく余裕がないから」（26.1%）が続きます。

前回調査と比較すると、「対応できる薬剤師が不足しているから」が15.7ポイント、「実施にあたっての要件が厳しいから」が15.2ポイント増加しています。



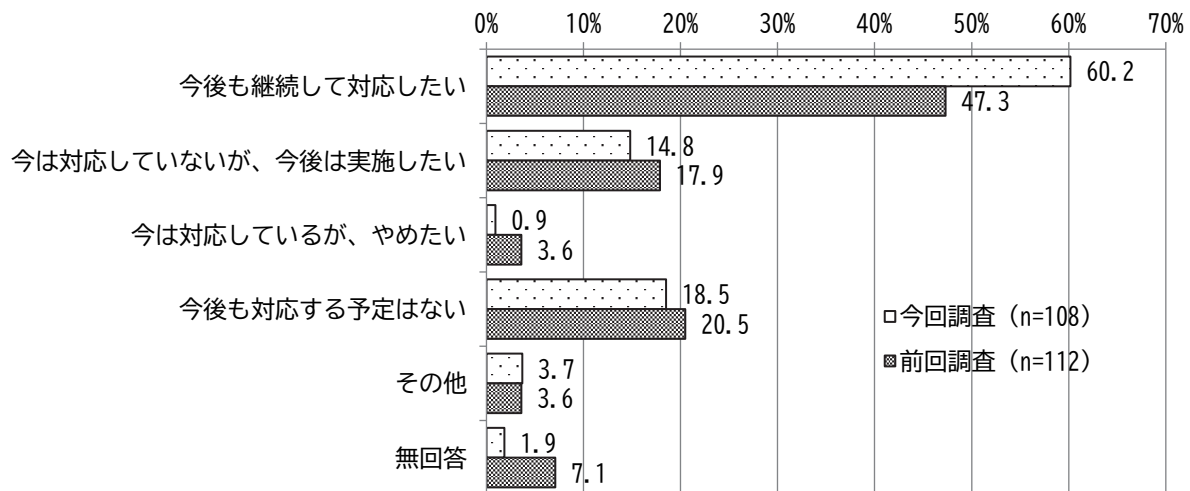
【その他の回答（抜粋）】

- ・ チェーンのため、店舗単位では対応していないが、依頼があった場合はその担当店舗に対応を交代しチェーン全体で対応している。

問7 在宅患者訪問薬剤管理指導・居宅療養管理指導の今後について、どのように考えていますか。（〇は1つ）

「今後も継続して対応したい」が60.2%で最も多く、「今後も対応する予定はない」（18.5%）、「今は対応していないが、今後は実施したい」（14.8%）が続きます。

前回調査と比較すると、「今後も継続して対応したい」が12.9ポイント増加しています。

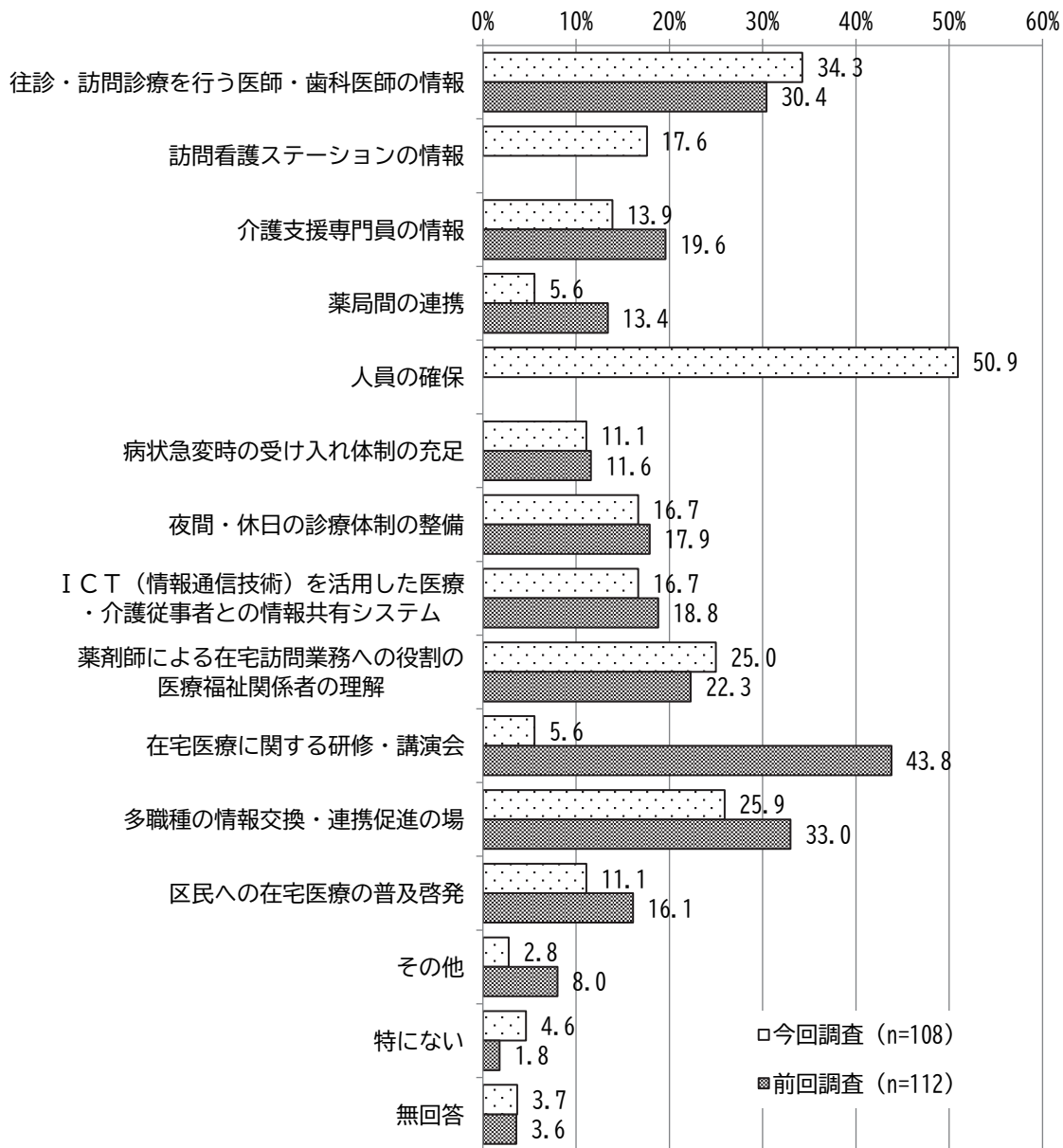


【その他の回答（抜粋）】

- ・ 今のところ要望も無いため現状維持
- ・ 依頼があった時に検討したい。

問8 在宅患者訪問薬剤管理指導・居宅療養管理指導を実施するにあたり、今必要なことは主に何ですか。（〇は3つまで）

「人員の確保」が50.9%で最も多く、「往診・訪問診療を行う医師・歯科医師の情報」（34.3%）、「多職種の情報交換・連携促進の場」（25.9%）、「薬剤師による在宅訪問業務への役割の医療福祉関係者の理解」（25.0%）が続きます。



※前回調査と選択肢の構成が一部異なります。

なお、10番目の選択肢については、前回調査では、「在宅医療に関する知識・技術向上のための研修・講演会」という表記でした。

【その他の回答（抜粋）】

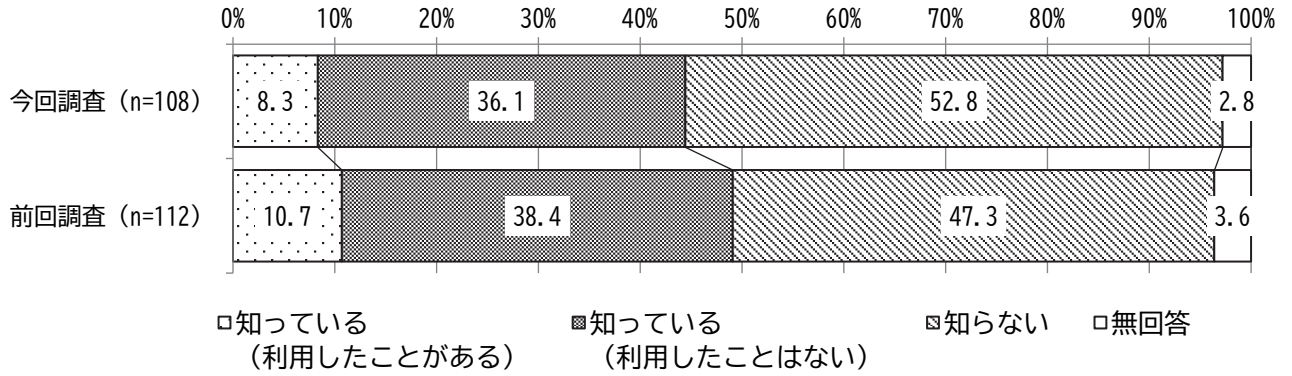
- ・ 看取りをする医院を増やすこと。かかりつけ医が看取りをすれば在宅医療は進む。

3.3 台東区医療意識調査（薬局）

問9 台東区では、在宅療養に関する様々な相談を受ける「在宅療養支援窓口」を、区立台東病院内に設置しています。そのことをご存知ですか。（○は1つ）

「知らない」が52.8%、「知っている（利用したことはない）」が36.1%、「知っている（利用したことがある）」が8.3%となっています。

前回調査と比較すると、「知らない」が5.5ポイント増加しています。

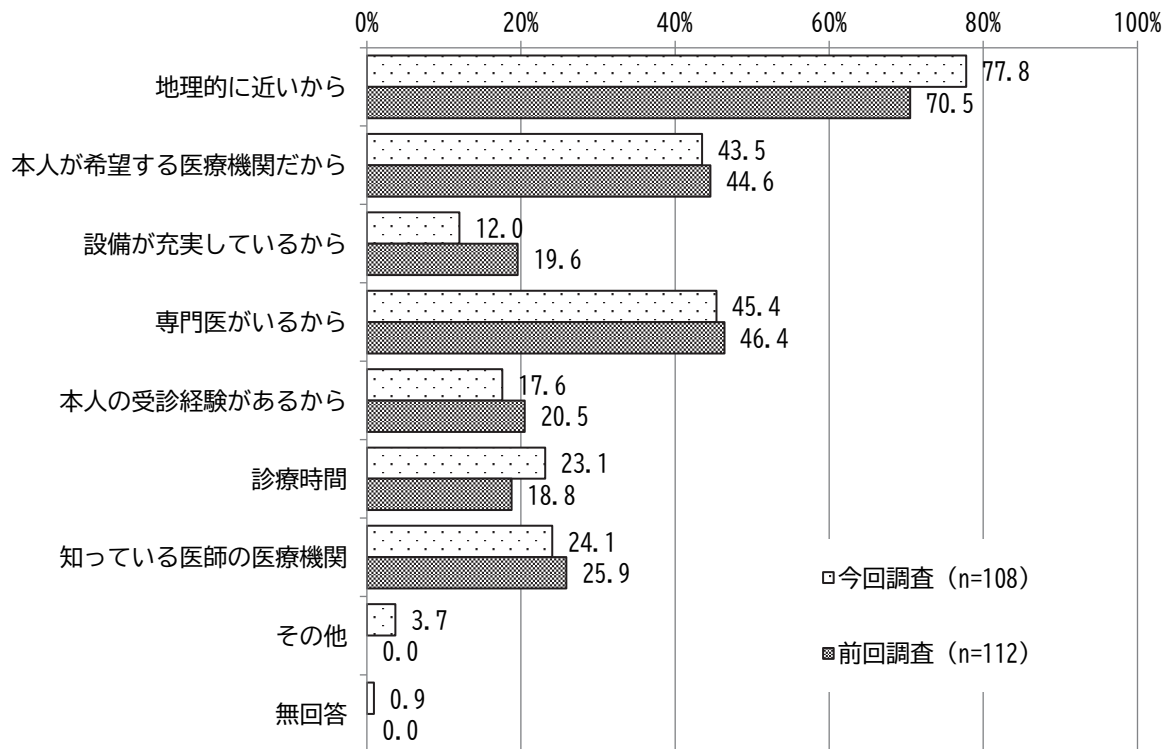


(2) 医療連携等について

問10 薬局で受診勧奨する際、医療機関を主にどのような理由で選んでいますか。（〇は3つまで）

「地理的に近いから」が77.8%で最も多く、「専門医がいるから」（45.4%）、「本人が希望する医療機関だから」（43.5%）、「知っている医師の医療機関」（24.1%）が続きます。

前回調査と比較すると、「地理的に近いから」が7.3ポイント増加し、「設備が充実しているから」が7.6ポイント減少しています。



【その他の回答（抜粋）】

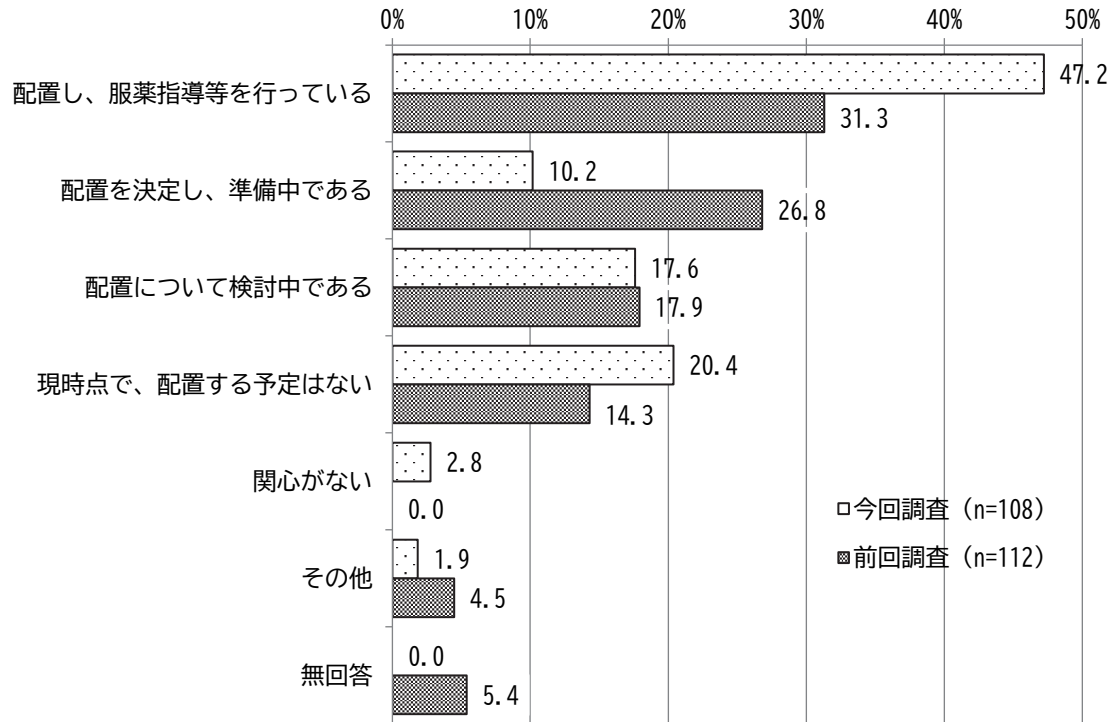
- ・ 患者のニーズや状態にあった医療機関だから
- ・ 他の患者さんが通院しているから
- ・ 何かあったときに連絡するとすぐに来てくれる。

3.3 台東区医療意識調査（薬局）

問11 貴薬局では、かかりつけ薬剤師を配置していますか、あるいは準備中ですか。（〇は1つ）

「配置し、服薬指導等を行っている」が47.2%で最も多く、「現時点で、配置する予定はない」（20.4%）、「配置について検討中である」（17.6%）、「配置を決定し、準備中である」（10.2%）が続きます。

前回調査と比較すると、「配置し、服薬指導等を行っている」が15.9ポイント増加しています。

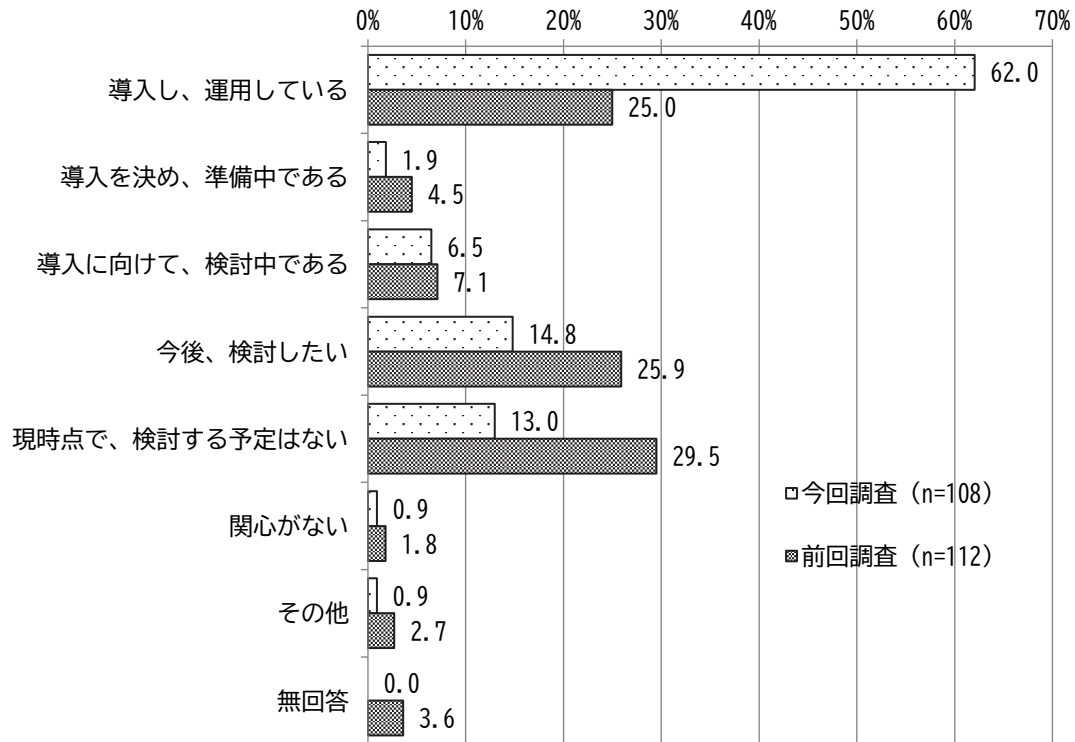


3.3 台東区医療意識調査（薬局）

問12 電子版お薬手帳のシステムを導入し運用していますか、あるいは準備中ですか。（○は1つ）

「導入し、運用している」が62.0%で最も多く、「今後、検討したい」（14.8%）、「現時点で、検討する予定はない」（13.0%）、「導入に向けて、検討中である」（6.5%）が続きます。

前回調査と比較すると、「導入し、運用している」が37.0ポイント増加し、過半数を占めるに至っています。

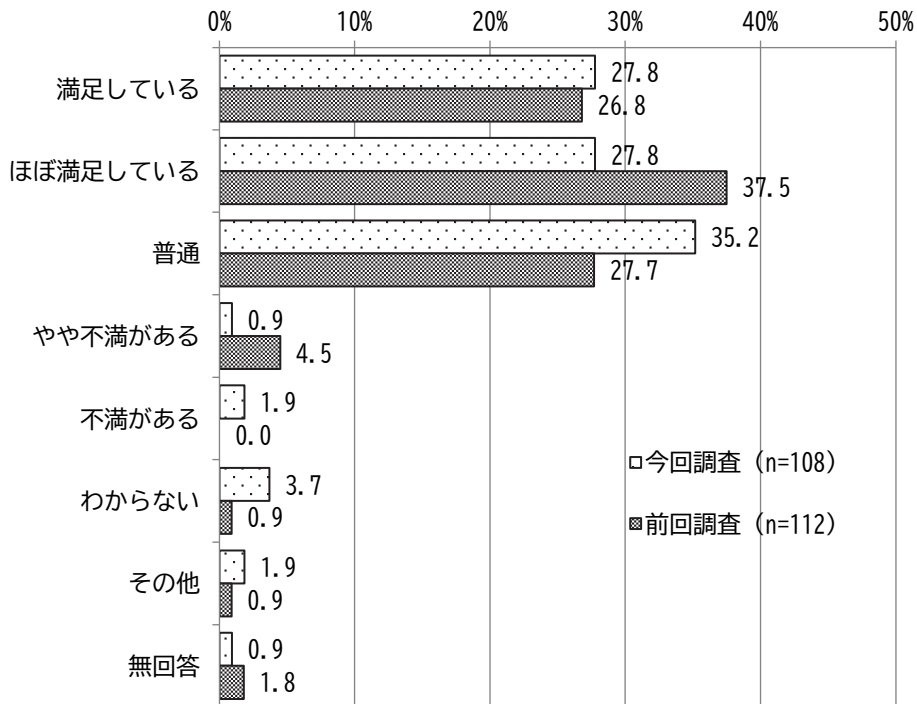


(3) 台東区の医療に関する事業について

問13 台東区では、区立台東病院の運営や「台東区の身近なお医者さん」（医療マップ）の作成など、医療に関する事業を行っています。これら区の実施をどう評価しますか。（○は1つ）

「普通」が35.2%で最も多く、「満足している」（27.8%）、「ほぼ満足している」（27.8%）、「わからない」（3.7%）が続きます。

前回調査と比較すると、「ほぼ満足している」が9.7ポイント減少し、「普通」が7.5ポイント増加しています。



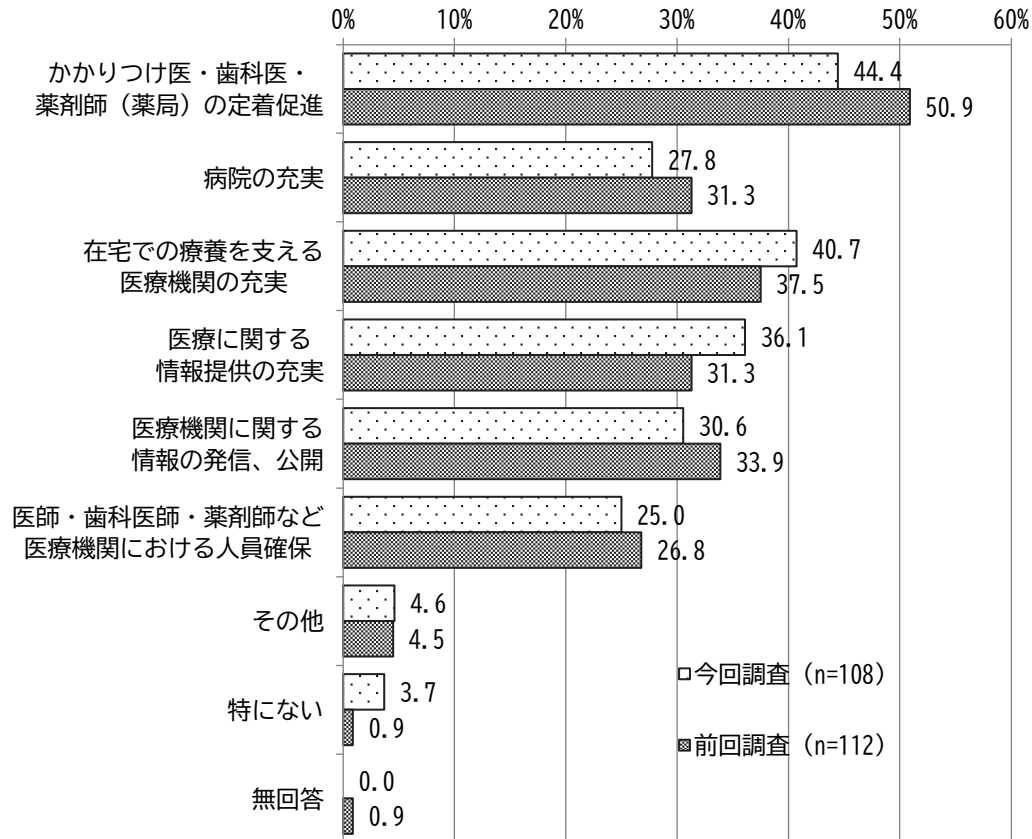
【その他の回答】

- ・ 診療科から引けたら良い。
- ・ ほぼ満足しているが、区民に勉強会やお話会などとともに積極的に配布するのがよい。

3.3 台東区医療意識調査（薬局）

問14 台東区内の医療を充実させるため何が必要だと考えますか。（〇は3つまで）

「かかりつけ医・歯科医・薬剤師（薬局）の定着促進」が44.4%で最も多く、「在宅での療養を支える医療機関の充実」（40.7%）、「医療に関する情報提供の充実」（36.1%）、「医療機関に関する情報の発信、公開」（30.6%）が続きます。



【その他の回答（抜粋）】

- ・ 区民のリテラシー教育、区民への制度に関する勉強の機会創出
- ・ 夜間の小児の診察受け入れ
- ・ 外国人観光客の増加により、外国語対応可の医療機関のリストがほしい。
- ・ 小児科診療所の充実（数と診療時間）。診療時間を 18:30 までにしてほしい。

問15 区に対するご要望などがあれば、下の欄へ自由にご記入ください。

【意見】（抜粋）

- ・ 緊急時の対応が台東区は遅いと感じる。区と病院の連携を素早くとれるようにしてほしい。
- ・ 薬が入手困難になっています。日頃から病気にならない予防を広めていかないといつも思います。薬に頼るのではなく、自分の健康は自分で守るということを広めてほしいです。
- ・ 在宅だけでは医療の充実は難しいと思います。病院医療は患者を断るだけでなく、患者が医療選択できる自由のためにも病院医療の充実が必要と思います。
- ・ 休日当番の時間が9時～22時となっており、むしろ平日より長いですが、19時以降はほぼ患者も来ないため時間の見直しを検討してほしい。
- ・ 多職種連携の交流の場をもっと作ってほしい（コロナ前位の規模まで戻してほしい）
- ・ かかりつけ薬剤師がいる薬局では、患者の処方医師情報、ケアプランもみており、情報は外から見ると以上に有していると思われます。今後、包括支援センターもひっ迫していく中で、要支援1、要支援2など、あるいは介護保険サービスを導入しようとする住民への説明の一端を、薬局のかかりつけ薬剤師が担ってもよいと考えます。今回は設問にありませんでしたが、台東区内には平均値以上の健康サポート薬局と地域連携薬局があります。10軒程度のこの薬局が中心に、介護保険サービス在宅医療へのつなぎを強化できるのではないかと考えています。今一度この制度についても共有いただきたいです。